

## 〔芸術文化センターの管理・運営（概要）〕

### 1 芸術文化センター事業

#### (1) 主催事業等

主催事業は134事業208公演以上を予定し、自主制作公演や古典芸能、知的・発達障がい児（者）向けの社会包摂プログラムなども実施する。

##### 【主な公演】

- ・佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ「カルメン」（7月17日～26日）
- ・ジルヴェスター・ガラ・コンサート2026（12月31日）
- ・芸術文化センタープロデュース 土田英生 作・演出作品（12月26日～27日）
- ・文楽 in Hyogo「伊賀越道中双六沼津の段」（8月11日）
- ・知的・発達障がい児（者）にむけての劇場体験プログラム（3月14日）

### 2 兵庫芸術文化センター管弦楽団事業

楽団定期演奏会は8事業24公演、特別演奏会では新たなシリーズ展開を予定している。また、普及事業では青少年芸術体験事業「わくわくオーケストラ教室」や小学校・特別支援学校へのアウトリーチ活動をはじめ、県内各地での演奏活動など県立楽団としての事業を展開する。

##### 【佐渡裕芸術監督指揮 定期演奏会】

- ・第170回 マラー：交響曲第1番「巨人」（8月7日～9日）
- ・第171回 M.リトベルグ：ヴァイオリン協奏曲（9月11日～13日）
- ・第175回 サン＝サーンス：ヴァイオリン協奏曲第3番（令和9年1月15日～17日）
- ・第179回 武満徹：独奏クラリネットとオーケストラのための《ファンタズマ/カントス》  
(令和9年8月6日～8日)

### 3 芸術文化センター広報・普及活動

#### (1) 広報活動

多彩な情報誌「ひょうご舞台芸術」や会報誌のほか、各種SNSや動画配信等を活用した広報展開を図り、先行予約会員や券売率の増加を目指す。

#### (2) 主催事業と連携した普及事業

- ①公開リハーサル
- ②講演会・ワークショップ
- ③バックステージツアー

#### (3) ひょうごプレミアム芸術デーの実施

7月の佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ前夜祭に合わせて開催する。

### 4 施設の管理運営事業

#### (1) 貸館事業

貸館公演数は、令和7年度は345公演を予定しており、コロナ禍以前の令和元年度の326公演を上回る見込みであり、令和8年度についても引き続き、県民の舞台芸術の鑑賞、創作、発表など多彩な文化創造活動の拠点を目指す。

#### (2) 人材育成

芸術文化観光専門職大学の臨地実務実習生の受入れ（R4～）やトライやるウィークの受入れ等を引き続き実施し、アートマネジメントの将来を担う人材育成を図る。

## 〔芸術文化センターの管理・運営（詳細）〕

阪神・淡路大震災からの「心の復興、文化の復興」のシンボルとして、開館（H17年10月）以来20年間、年間約45万人の入場者を迎え、総入場者数は900万人を超えた。この間県民（ファン）の熱い支持を得て新たな試みにも挑戦しながら、震災からの文化の復興の拠点となる本格的な舞台芸術専門劇場として創造的復興の具体的姿を発信してきた。

令和8年度においても、県民の幅広い期待に応えるため、これまでの実績を踏まえた多彩で豊富なメニューを提供し、人々が元気で輝き続け、誇りに思ってもらえる劇場（みんなの広場）であり続けるとともに、街のにぎわいを創出することにより、県民生活の質的向上・地域活性化の一翼を担っていく。

また、開館20年を機にますます活気ある劇場として、安全・安心・快適のための基盤整備（ハード）をはじめ、長期的な県収支フレーム（予算）をベースに継続的かつ十分な財源の確保、選べる“楽しさ”の展開（ソフト）による「にぎわい」の安定・継続、優れた人材の確保による運営体制を継続していく。

### 【事業展開の基本コンセプト】

- ①多彩な舞台芸術の『創造・発信』
- ②芸術性豊かなものから親近感に富むものまで『幅広いニーズ』に応える上演
- ③舞台芸術の『普及』・県民の創造活動の支援

## 1 芸術文化センター事業

### (1) 佐渡芸術監督プロデュースオペラ・コンサート公演（KOBELCO大ホール）

佐渡裕芸術監督ならではの企画による制作・上演。プロデュースオペラは全国的にも珍しい全8回ロングラン公演を展開。幅広いオペラファンの獲得・定着をめざす。

演 目	公演年月日	出演者等
歌劇「カルメン」 （新制作21作目） （全4幕／フランス語上演・日本語字幕付き／新制作）  （公財）三菱UFJ信託芸術文化財団助成（予定）	8. 7. 17 ～7. 26 （8公演）	音楽：ジョルジュ・ビゼー 台本：アンリ・メイヤック、リュドヴィク・アレヴィ 指揮：佐渡裕 演出：ロレンツォ・マリアーニ 装置：アレッサンドロ・カーメラ 衣裳：シルヴィア・アイモニーノ 照明：マルコ・フィリベック 振付：チェスク・ジェラベルト、リディア・アツォパルディ 演出助手：フランチェスコ・ボナーティ、飯塚励生 装置助手：アンドレア・グレゴリー 合唱指揮：矢澤定明 舞台監督：幸泉浩司 プロデューサー：小栗哲家 出 演：（ダブル・キャスト） （カルメン）エカテリーナ・セメンチュク／高野百合絵、（ドン・ホセ）ロベルト・アローニカ／マリオ・ロハス、（エスカミーリョ）マハラム・フセイノフ／高田智宏、（ミカエラ）ヴァレンティナ・マストラランジェロ／迫田美帆、（フラスキータ）梨谷桃子*／富平安希子、（メルセデス）山際きみ佳*／林 眞暎、（レメンダード）水口健次*／所谷直生、（ダンカイロ）ロベルト・アックールソ／町 英和、（スニガ）伊藤貴之／湯浅貴斗*、（モラレス）的場正剛*／仲田尋一*、（以下、全日）（パステリア）相良アレキサンダー（以上、*印は関西出身・拠点。一部、本キャストのカバーもしくはアンダースタディを兼ねる） ひょうごプロデュースオペラ合唱団、ひょうご「カルメン」合唱団、兵庫プロデュースオペラ児童合唱団、兵庫芸術文化センター管弦楽団

演 目	公演年月日	出演者等
		〔関連公演〕 3事業 13公演 ＊「カルメン」ハイライトコンサート～ええとこどり！ （有力な関西出身・拠点出演者・スタッフによる 低価格公演）十合翔子／伊藤絵美、谷口耕平／矢 野勇志、藤村江李奈／野口真湖、内山建人／平 欣 史（以上、ダブルキャスト）、伊原敏行（ピアノ/ お話）、西尾麻貴（ピアノ）、奥村啓吾（構成・演 出） 芸文センター（4/15、16）及び県内 11 会場 11 公 演（4/18 赤穂、4/19 洲本、4/25 三田、4/26 養父、 4/29 小野、5/2 稲美、5/3 西神中央、5/9 丹波篠 山、5/10 福崎、5/16 多可、5/17 明石）（計 12 会 場 13 公演） ＊ワンコイン・プレ・レクチャー（同日 2 回） 6/10（講師：城谷正博（新国立劇場オペラ音楽ヘッドコーチ）） ＊前夜祭 7/16（共通） 主催：西北活性化協議会
ジルヴェスター・ガラ・ コンサート 2026  助成：（一財）地域創造（令和 8 年 度地域の文化・芸術活動助成事業創 造プログラム）	8. 12. 31 （1公演）	指揮：園田隆一郎 独奏：ファビアン・ヨハネス・エッガー（フルー ト、2025 年神戸国際フルートコンクール優勝）、務 川慧悟（ピアノ、2019 年ロン＝ティボー＝クレス パン国際コンクール第 2 位、2023 年エリザベート 王妃国際コンクール第 3 位）、他 合唱：神戸市混声合唱団（調整中） 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団 提携：（公財）神戸市民文化振興財団（神戸国際フ ルートコンクール運営委員会事務局） ＊R8.10 県立西宮高校音楽科、神戸女学院アウトリ ーチセンター他と連携し、アウトリーチ事業実施
合 計		2 事業 9 公演（県内 13 公演）

※芸術文化センター管弦楽団演奏会は別記

## （2） 独自の自主企画・プロデュースによる公演／兵庫県ゆかりの古典芸能

芸文センター独自に企画・制作し上演する良質で多彩な演目により新たなファンを発掘。

演 目	公演年月日	出演者等
自主 制作 公演  土田英生作・演出作品 （阪急中ホール）	8. 12. 26 ～27 （2公演）	作・演出：土田英生
（河内特別 参加 企画） 古典 芸能  文楽 in Hyogo 「伊賀越道中双六 沼津の段」 （阪急中ホール）	8. 8. 11 （1公演）	出演：豊竹若太夫、鶴澤燕三 吉田和生、桐竹勘十郎 河内厚郎 ほか
谷崎潤一郎生誕 140 年 「文豪谷崎の物語世 界」 （神戸女学院小ホール）	9. 2. 13 （1公演）	出演：朝井まかて（小説家）、 桂 米團治（落語家）、片岡リサ （箏奏者）、善竹忠亮（狂言師）ほか

演 目		公演年月日	出演者等
こども向け公演	宮川彬良&アンサンブル・ベガ こどもの日スペシャル (KOBELCO 大ホール)	8. 5. 5 (1公演)	出演：宮川彬良&アンサンブル・ベガ、 五代目江戸家猫八
	通崎睦美 (神戸女学院小ホール)	9. 3. 28 (2公演) *うち1公演は 一般向け	木琴：通崎睦美 ほか
社会包摂 プログラム	知的・発達障がい児(者) にむけての劇場体験 プログラム (KOBELCO 大ホール)	9. 3. 14 (1公演)	出演：調整中 企画・コーディネート：国際障害者交流センター (ビッグ・アイ) 制作：兵庫県立芸術文化センター
合 計		6事業	8公演

### (3) 幅広いニーズに応える公演（自主企画制作・招聘・提携・共催事業等）

#### ① 国内外オーケストラ・オペラ・バレエ・室内楽公演等

音楽マネジメント事務所等との連携により、世界水準のオーケストラ、オペラ、バレエ公演をはじめ、様々な国の優れた舞台芸術を上演し、観客の期待に応えるとともに、大規模舞台芸術専門劇場としての存在感をアピール。

演 目		公演年月日	出演者等
世界のオーケストラ	タルモ・ペルトコフスキ指揮 トウルーズ・キャピトル国立管弦楽団 (KOBELCO 大ホール) [ABCテレビ共催]	8. 6. 7 (1公演)	タルモ・ペルトコフスキ指揮 トウルーズ・キャピトル国立管弦楽団 ピアノ：辻井伸行
	テオドール・クルレンツィス指揮 ユートピア管弦楽団 (KOBELCO 大ホール) [ABCテレビ共催]	8. 11. 20 (1公演)	指揮：テオドール・クルレンツィス 管弦楽：ユートピア管弦楽団
	サイモン・ラトル指揮 バイエルン放送交響楽団 (KOBELCO 大ホール)	8. 11. 21 (1公演)	指揮：サイモン・ラトル 管弦楽：バイエルン放送交響楽団 ピアノ：クリスチャン・ツイメルマン
	トマーシュ・ネトピル指揮 プラハ交響楽団 (KOBELCO 大ホール)	9. 1. 9 (1公演)	指揮：トマーシュ・ネトピル 管弦楽：プラハ交響楽団 チェロ：北村陽
	庄司紗矢香&カメラータ・ザルツブルク (KOBELCO 大ホール)	8. 6. 6 (1公演)	管弦楽：カメラータ・ザルツブルク ヴァイオリン：庄司紗矢香
世界の合唱	ウィーン少年合唱団 (KOBELCO 大ホール) [ABCテレビ共催]	8. 5. 31 (1公演)	出演：ウィーン少年合唱団

	演 目	公演年月日	出演者等
世界の巨匠・ライジングスター	ヤクブ・ユゼフ・オル リンスキ (KOBELCO 大ホール)	8. 4. 9 (1公演)	カウンターテナー：ヤクブ・ユゼフ・オルリンスキ ピアノ：ミハウ・ビエル
	ウィーン八重奏団 (KOBELCO 大ホール)	8. 4. 25 (1公演)	出演：ウィーン八重奏団
	クリーヴランド管弦楽 団 金管五重奏 (神戸女学院小ホール)	8. 6. 4 (1公演)	出演：クリーヴランド管弦楽団金管五重奏
	トリオ・ヴァンダラー (神戸女学院小ホール)	8. 6. 5 (1公演)	出演：トリオ・ヴァンダラー (ピアノ三重奏)
	ネマニャ・ラドウロヴ ィチ (KOBELCO 大ホール)	8. 6. 27 (1公演)	ヴァイオリン：ネマニャ・ラドウロヴィチほか
	キアロスクーロ・カル テット (神戸女学院小ホール)	8. 7. 5 (1公演)	出演：キアロスクーロ・カルテット (弦楽四重奏)
	ティボー・ガルシア& アントワン・モリエール (神戸女学院小ホール)	8. 10. 4 (1公演)	ギター：ティボー・ガルシア、アントワン・ モリエール
	ジュリアード弦楽四重 奏団 (神戸女学院小ホール)	8. 10. 29 (1公演)	出演：ジュリアード弦楽四重奏団
	アンドレアス・シュタイ アー (神戸女学院小ホール)	8. 11. 15 (1公演)	チェンバロ：アンドレアス・シュタイアー
	フォーレ四重奏団 (神戸女学院小ホール)	8. 12. 6 (1公演)	出演：フォーレ四重奏団 (ピアノ四重奏)
ジャン＝ギアン・ケラ ス (神戸女学院小ホール)	9. 1. 21 (1公演)	チェロ：ジャン＝ギアン・ケラス	
兵庫県出身、 世界で活躍する音楽家たち	河村尚子 (KOBELCO 大ホール)	8. 9. 27 (1公演)	ピアノ：河村尚子 (西宮市出身)
	小曾根真トリオ with アンナ・マリア・ヨペック (KOBELCO 大ホール)	8. 12. 16 (1公演)	出演：小曾根真 (神戸市出身) トリオ ヴォーカル：アンナ・マリア・ヨペック
	トマーシュ・ネトピル 指揮 プラハ交響楽団 (KOBELCO 大ホール) *再掲	9. 1. 9 (1公演)	指揮：トマーシュ・ネトピル 管弦楽：プラハ交響楽団 チェロ：北村陽 (西宮市出身)
	中村恵理 (KOBELCO 大ホール)	9. 2. 14 (1公演)	ソプラノ：中村恵理 (川西市出身) ほか
	濱田あや (神戸女学院小ホール)	9. 3. 7 (1公演)	チェンバロ：濱田あや (芦屋市出身)

	演 目	公演年月日	出演者等
日本を代表する音楽家たち	及川浩治 (神戸女学院小ホール)	8. 4. 11 (1公演)	ピアノ：及川浩治
	赤坂智子&佐藤晴真 (神戸女学院小ホール)	8. 4. 18 (1公演)	ヴィオラ：赤坂智子 チェロ：佐藤晴真
	竹澤恭子 バッハ無伴奏 第1回 (神戸女学院小ホール)	8. 4. 26 (1公演)	ヴァイオリン：竹澤恭子
	竹澤恭子 バッハ無伴奏 第2回 (神戸女学院小ホール)	8. 5. 10 (1公演)	ヴァイオリン：竹澤恭子
	川口成彦 (神戸女学院小ホール)	8. 5. 17 (1公演)	フォルテピアノ：川口成彦
	仲道郁代 (KOBELCO 大ホール)	8. 5. 23 (1公演)	ピアノ：仲道郁代
	庄司紗矢香&カメラータ・ザルツブルク (KOBELCO 大ホール) *再掲	8. 6. 6 (1公演)	管弦楽：カメラータ・ザルツブルク ヴァイオリン：庄司紗矢香
	荘村清志&マーク・グローウェルズ&小林沙羅 (神戸女学院小ホール)	8. 6. 20 (1公演)	ギター：荘村清志 フルート：マーク・グローウェルズ ソプラノ：小林沙羅
	尾高忠明指揮 大阪フィルハーモニー交響楽団 (KOBELCO 大ホール)	8. 10. 25 (1公演)	指揮：尾高忠明 管弦楽：大阪フィルハーモニー交響楽団
	須川展也 (神戸女学院小ホール)	8. 11. 14 (1公演)	サクソフォン：須川展也
	沖澤のどか指揮 京都市交響楽団 (KOBELCO 大ホール)	8. 11. 22 (1公演)	指揮：沖澤のどか指揮 管弦楽：京都市交響楽団 ヴァイオリン：五嶋みどり
	金川真弓&小菅優 (神戸女学院小ホール)	9. 2. 23 (1公演)	ヴァイオリン：金川真弓 ピアノ：小菅優
児玉 桃 メシアン・鳥のカタログ (神戸女学院小ホール)	9. 3. 6 (1公演)	ピアノ：児玉桃	

	演 目	公演年月日	出演者等
国内バレエ団・子どもファミリー向け	貞松浜田バレエ団「バレエ・ドラゴンクエスト」(KOBELCO 大ホール) [共催: 貞松・浜田バレエ団]	8. 8. 1~2 (2公演)	音楽: すぎやまこういち 演出・振付: 鈴木稔 指揮: 永峰大輔 管弦楽: びわ湖の風オーケストラ 出演: 貞松・浜田バレエ団
	東京バレエ団「白鳥の湖」(KOBELCO 大ホール) [NBS 共催]	8. 9. 19 (1公演)	音楽: チャイコフスキー 出演: 東京バレエ団 管弦楽: 大阪フィルハーモニー交響楽団
	新国立劇場バレエ団 「ジゼル」(KOBELCO 大ホール) [新国立劇場共催]	9. 1. 23 ~24 (2公演)	出演: 新国立劇場バレエ団
その他クラシック・コンサート・リサイタル等	レオンコロ弦楽四重奏団 (神戸女学院小ホール)	8. 5. 13 (1公演)	出演: レオンコロ弦楽四重奏団
	のだめカンタービレの音楽会 [関西テレビ放送共催] (KOBELCO 大ホール)	8. 8. 15 ~16 (2公演)	企画・指揮・お話: 茂木大輔 ピアノ: 太田糸音、ヴァイオリン: 渡辺紗蘭 管弦楽: 日本センチュリー交響楽団
	青木尚佳&ジャノ・リスボア & ウェン=シン・ヤン (神戸女学院小ホール)	8. 10. 4 (1公演)	ヴァイオリン: 青木尚佳 ヴィオラ: ジャノ・リスボア チェロ: ウェン=シン・ヤン
	宮川彬良&アンサンブル・ベガ ニューイヤークン・コンサート (神戸女学院小ホール)	9. 1. 6 (2公演)	出演: 宮川彬良&アンサンブル・ベガほか
	ジェイデン・アイジク=ズルコ (ピアノ) (神戸女学院小ホール)	9. 1. 17 (1公演)	ジェイデン・アイジク=ズルコ (ピアノ)
	上野耕平×山中惇史×石若駿 (KOBELCO 大ホール)	9. 3. 13 (1公演)	サクソフォン: 上野耕平 ピアノ: 山中惇史 パーカッション: 石若駿
	延原武春指揮 テレマン室内オーケストラ (神戸女学院小ホール)	9. 3. 26 (1公演)	指揮: 延原武春 管弦楽: テレマン室内オーケストラ
合 計		45 事業	49 公演

※共催事業: ①芸文センターのコンセプトに合致し、ラインナップとバランス・整合・補強するもので、②共催者からの提案・事業誘致(営業)によって選定、③広報券売協力に加え、収支リスク負担・施設設備使用料負担について条件協議を行う事業

② 国内外演劇・ミュージカル・古典芸能公演等（阪急中ホール）

劇場・劇団とのネットワークにより、ストレートプレイ、一人芝居などの演劇をはじめ、ミュージカル、ダンス、狂言、落語など、幅広い層が楽しめる良質で多彩な演目を提供するとともに、シアターコンサート等、芸術文化センターならではの企画を展開。

	演 目	公演年月日	出演者等
演劇・ミュージカル等 (良質な作品制作実績のある公共劇場との連携)	コーカサスの白墨の輪 *世田谷パブリックシアターとの連携	8. 4. 11 ～12 (2公演)	原作：ベルトルト・ブレヒト（酒寄進一訳） 演出：瀬戸山美咲 出演：木下晴香、平間壮一、sara、加藤梨里香、一路真輝、眞島秀和 ほか
	ジャン・レノ「らくだ」 *東京芸術劇場との連携	8. 6. 4 (1公演)	演出：ラディスラス・ショラー 出演：ジャン・レノ ほか
	レディエント・バーミン *世田谷パブリックシアターとの連携	8. 7. 11 ～12 (3公演)	作：フィリップ・リドリー 演出：白井晃 出演：清原果耶、井之脇海、池津祥子
	イエルマ *世田谷パブリックシアターとの連携	8. 10. 17 ～18 (3公演)	演出：稲葉賀恵 出演：調整中
	リア王 *東京芸術劇場との連携	8. 10. 23 ～25 (3公演)	演出：森新太郎 出演：調整中
	劇場で出会う文学 小川洋子×朗読×音楽 *岡山創造劇場ハレノワとの連携	8. 11. 13 (1公演)	原作：小川洋子 演出：角ひろみ 出演：神野美鈴、ドリアンロロブリジーダ 演奏：松岡陽平
	リアルワールド *東京芸術劇場との連携	9. 3. 5～7 (3公演)	原作：桐野夏生 演出：ジョン・マルコヴィッチ 出演：調整中
	ヨハンナ *世田谷パブリックシアターとの連携	9. 3. 20 ～22 (3公演)	出演：調整中

	演 目	公演年月日	出演者等
演劇・ミュージカル等 (幅広いファンにアピールする公演、 エンターテインメント性の高い公演)	るつぼ	8. 4. 3 ～5 (4公演)	作：アーサー・ミラー 演出：上村聡史 出演：坂本昌行、前田亜季、松崎祐介、 瀧七海、伊達暁、佐川和正 ほか
	ケムリ研究室 no.5 サボテンの微笑み	8. 4. 24 ～26 (4公演)	作・演出：ケラリーノ・サンドロヴィッチ 出演：緒川たまき、瀬戸康史、瀬戸さおり、 清水伸、赤堀雅秋、萩原聖人、 鈴木慶一
	死神	8. 5. 2 ～4 (4公演)	作・演出：倉持裕 出演：牧島輝、樋口日奈、浅利陽介、 玉置孝匡、香月彩里、立川志の春/ 水野美紀
	メアリ・ステュアート [関西テレビ放送共催]	8. 5. 14 ～17 (5公演)	作：ロバート・アイク 翻訳：小田島則子 演出：栗山民也 出演：宮沢りえ、若村麻由美、橋本淳、 木村達成、犬山イヌコ、谷田歩、 大場泰正、宮崎秋人、采澤靖起、 阿南健治、久保耐吉/段田安則
	BACK BEAT [MBS 毎日放送共催]	8. 5. 21 ～24 (5公演)	作：イソ・ワトリー スティーヴン・ジェリーズ 翻訳・演出：石丸さち子 音楽監督：森 大輔 出演：戸塚祥太、加藤和樹、辰巳雄大、 JUON、上口耕平、愛加あゆ、林翔太、 鍛冶直人、東山光明、田川景一、 安楽信顕、尾藤イサオ
	トランス	8. 6. 5 (1公演)	作・演出：鴻上尚史 出演：風間俊介、岡本玲、伊礼彼方
	帰還不能点	8. 6. 27 ～28 (2公演)	脚本：古川健 演出：日澤雄介 出演：岡本篤、浅井伸治 ほか
	虹のかげら	8. 7. 25 ～26 (3公演)	作・演出：三谷幸喜 出演：戸田恵子
	梅田芸術劇場ミュージカル [梅田芸術劇場共催]	調整中	調整中
	朗読劇「古事記」	8. 9. 25 (1公演)	脚本：笹部博司 出演：白石加代子、風間杜夫

	演 目	公演年月日	出演者等
演劇・ミュージカル等 （幅広いファンにアピール する公演、エンターテイメント性の高い公演）	ナイロン 100℃	8. 10. 10 ～11 (3公演)	作・演出：ケラリーノ・サンドロヴィッチ 出演：調整中
	Rock 'n Roll	調整中	演出：小川絵梨子 出演：調整中
	名取事務所 追熟しない果実	8. 11. 21 (1公演)	作：横山拓也 演出：西本由香 出演：調整中
	SPY×FAMILY2 (KOBELCO 大ホール) [梅田芸術劇場共催]	日程調整中	原作：遠藤達哉 (集英社「少年ジャンプ」連載) 脚本・作詞・演出：G 2 作曲・編曲・音楽監督：かみむら周平 出演：森山ウィン／木内健人 (Wキャスト) 唯月ふうか／真彩希帆 (Wキャスト) 朝夏まなと／真瀬はるか (Wキャスト) ほか
	二兎社	9. 2. 10 (1公演)	作・演出：永井愛 出演：調整中
伝統芸能	春爛漫 茂山狂言会 お豆腐狂言会	8. 4. 29 (1公演)	出演：茂山千五郎 ほか
	Cutting Edge Kyogen	8. 8. 29 (2公演)	出演：茂山千五郎 ほか
	万作萬斎狂言	8. 11. 10 ～11 (2公演)	出演：野村万作、野村萬斎、野村裕基
	淡路人形浄瑠璃 特別 公演	9. 1. 23 (1公演)	出演：淡路人形座
落 語 会	笑福亭鶴瓶落語会	8. 4. 18 ～19 (2公演)	出演：笑福亭鶴瓶
	月亭方正独演会	8. 5. 31 (1公演)	出演：月亭方正
	笑福亭松喬独演会	8. 6. 20 (1公演)	出演：笑福亭松喬
	桂吉弥独演会	8. 7. 18 (1公演)	出演：桂吉弥
	桂二葉独演会	7. 8. 30 (1公演)	出演：桂二葉
	桂文珍独演会	8. 10. 3 ～4 (2公演)	出演：桂文珍
	特選落語競演会	8. 11. 15 (2公演)	出演：調整中
	柳家喬太郎独演会	8. 11. 28 (2公演)	出演：柳家喬太郎
	笑福亭三喬 襲名披露 公演	8. 12. 13 (1公演)	出演：笑福亭三喬

演 目		公演年月日	出演者等
落語会	桂吉坊・春風亭一之輔 二人会	9. 3. 13 (1公演)	出演：桂吉坊、春風亭一之輔
	立川談春独演会	9. 3. 26 ～28 (3公演)	出演：立川談春
講談	神田伯山独演会	9. 2. 23 (1公演)	出演：神田伯山
舞踊・ダンス	バーン・ザ・フロア (KOBELCO 大ホール) [関西テレビ放送共催]	日程調整中	出演：調整中
	コンドルズ 兵庫スペシャル公演	9. 1. 16 (1公演)	出演：コンドルズ
合 計      41 事業      82 公演以上			

### ③ 舞台の楽しみを広げる音楽オリジナル『シリーズ企画』

世界一流の室内楽団をはじめ、地元出身で幅広い活躍を続ける音楽家や、世界の音楽・ダンスを集めた「世界音楽図鑑」、「古楽の愉しみ」によるアーリーミュージック、ジャズなどシリーズ企画により、芸術文化センターならではの良質で親しみやすい幅広いジャンルの公演で音楽系ファンの裾野を広げる。

演 目		公演年月日	出演者等
世界音楽図鑑	トゥラン TURAN (阪急中ホール)	8. 6. 19 (1公演)	出演：トゥラン TURAN (カザフスタンのエスニック・フォーク・アンサンブル)
	沖 仁 (阪急中ホール)	8. 7. 31 (1公演)	フラメンコ・ギター：沖 仁 カンテ：石塚隆充 ほか
	ドリーマーズ・サーカス (阪急中ホール)	8. 9. 8 (1公演)	出演：ドリーマーズ・サーカス (デンマークの北欧音楽ユニット)
	ケルティック・クリスマス 2026 (阪急中ホール)	8. 12. 10 (1公演)	出演：調整中
古楽の愉しみ	川口成彦 (神戸女学院小ホール) *再掲	8. 5. 17 (1公演)	フォルテピアノ：川口成彦
	マチェイ・スクシエチュコフスキ (神戸女学院小ホール)	8. 6. 13 (1公演)	チェンバロ：マチェイ・スクシエチュコフスキ
	ル・コンソール (神戸女学院小ホール)	8. 6. 28 (1公演)	出演：ル・コンソール (古楽アンサンブル)

演 目		公演年月日	出演者等
古楽の 愉し み	アマンディーヌ・ベイエ &アンサンブル・リ・イン コニティ (神戸女学院小ホール)	8. 10. 22 (1公演)	出演：アマンディーヌ・ベイエ (バロッ ク・ヴァイオリン)、アンサンブル・リ・イ ンコニティ (古楽アンサンブル)
	アンドレアス・シュタイ アー (神戸女学院小ホール) *再掲	8. 11. 15 (1公演)	チェンバロ：アンドレアス・シュタイア ー
	濱田あや (神戸女学院小ホール) *再掲	9. 3. 7 (1公演)	チェンバロ：濱田あや
クリ スマ ス・ ジャ ズ・ フェ ステ イバ ル	大西順子 (神戸女学院小ホール)	8. 12. 11 (1公演)	ピアノ：大西順子
	4TRP. Legends (フォー・ トランペット・レジエ ンズ) (阪急中ホール)	8. 12. 12 (1公演)	出演：4TRP. Legends (エリック・ミヤシロ 主宰のジャズ・トランペット・ユニット)
	オールスタージャムセ ッション! (阪急中ホール)	8. 12. 15 (1公演)	出演：THE J. MASTERS with 広瀬未来、 類家心平
	小曾根真トリオ with アンナ・マリア・ヨペッ ク (KOBELCO 大ホール) *再掲	8. 12. 16 (1公演)	出演：小曾根真トリオ ヴォーカル：アンナ・マリア・ヨペック
	北村英治 クインテッ ト Eiji 2 (神戸女学院小ホール)	8. 12. 18 (1公演)	クラリネット：北村英治 ほか
	アロージャズオーケス トラ (KOBELCO 大ホール)	8. 12. 24 (1公演)	出演：アロージャズオーケストラ ほか
夜 の 音 楽 会	【夜の音楽会～今夜は チェロ】上野通明 (KOBELCO 大ホール)	8. 4. 24 (1公演)	チェロ：上野通明 ピアノ：兼重稔宏
合 計		17 事業	17 公演

#### (4) 舞台芸術の普及・県民の創造活動支援

##### ① プロムナード・コンサート、ワンコイン・コンサート等

##### (ア) プロムナード・コンサート (KOBELCO 大ホール)

人気・実力を兼ね備えた国内演奏家や国外アーティストを招き、親しみやすいプログラ  
ムによる低額入場料 (3,000 円程度) 公演を開催し、広範囲な集客 (裾野の拡大) をめ  
ざす。

演 目	公演年月日	出演者等
セルゲイ・ハチャトゥリアン &児玉桃 (KOBELCO 大ホール)	8. 9. 6 (1公演)	ヴァイオリン：セルゲイ・ハチャトゥリアン ピアノ：児玉 桃
河村尚子 (KOBELCO 大ホール) *再掲	8. 9. 27 (1公演)	ピアノ：河村尚子
中村恵理 (KOBELCO 大ホール) *再掲	9. 2. 14 (1公演)	ソプラノ：中村恵理 (川西市出身) ほか
上野耕平×山中惇史×石若駿 (KOBELCO 大ホール) *再掲	9. 3. 13 (1公演)	サクソフォン：上野耕平 ピアノ：山中惇史 パーカッション：石若駿
合 計		4 事業 4 公演

(イ) ワンコイン・コンサート (入場料 500 円) (KOBELCO 大ホール)

県内外音楽コンクール受賞者など兵庫・関西ゆかりの新進気鋭の音楽家による 60 分のコンサートを平日の昼間に開催し、広範囲な集客 (裾野の拡大) をめざす。

出 演 者	公演年月日	出演者等
椎名朋美 (フルート)	8. 4. 7 (1公演)	大阪府出身。大阪府立夕陽丘高等学校音楽科、東京藝術大学卒業、同大学大学院を大学院アカンサス音楽賞を得て修了。第 85 回日本音楽コンクール入選。現在、関西フィルハーモニー管弦楽団首席奏者、夕陽丘高等学校音楽科非常勤講師。
PACオーケストラ・メンバー 堀田 明 (チェロ) & 本橋和樹 (コントラバス)	8. 5. 1 (1公演)	<p>《堀田 明》アメリカ/日本出身。コルバーン音楽院卒業。パシフィック・ミュージック・フェスティバルなどに参加。主要コンクールでの受賞歴を持つ。兵庫芸術文化センター管弦楽団フォアシュピラー*。</p> <p>《本橋和明》東京都出身。洗足学園音楽大学音楽学部弦楽器コースコントラバス専攻卒業、同大学大学院修士課程修了。兵庫芸術文化センター管弦楽団フォアシュピラー*。</p> <p>*弦楽器各セクションの前列で演奏し、パートをリードする役割を担う奏者。</p>
ROCKGEN— <small>ろくげん</small> 六弦— (津軽三味線ユニット)	8. 6. 9 (1公演)	<p>《中村滉己》愛知県出身。民謡をアップデート&amp;リメイクし、世界に発信する活動を展開。様々な音楽分野との融合を通じ、津軽三味線・民謡の可能性を追求している。</p> <p>《中村卓也》兵庫県出身。本来の民謡、古典芸能の追求はもちろん、幅広い世代に三味線の魅力を伝えるべく可能性を追求している。</p>
鎌田溪志 (ホルン)	8. 8. 4 (1公演)	神奈川県出身。東京藝術大学卒業。IHSプレミア・ソリスト・コンクール (アメリカ) 第 4 位、第 35 回日本管打楽器コンクール入選など国内外での受賞多数。現在、日本センチュリー交響楽団副首席奏者。

出演者	公演年月日	出演者等
稲垣慈永 (ピアノ)	8. 9. 1 (1公演)	大阪府出身。2026年3月に京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専攻卒業予定。第27回松方ホール音楽賞受賞。2025年ロン＝ティボー国際ピアノコンクール2025出場。
中村友希乃 (ヴァイオリン)	8. 10. 1 (1公演)	兵庫県出身。東京藝術大学卒業、同大学大学院修了後、現在はミュンヘン音楽・演劇大学在学中。クロスター・シェンタール国際ヴァイオリンコンクール第1位、第27回松方ホール音楽賞など、国内外での受賞多数。
和田悠花 (ソプラノ)	8. 11. 20 (1公演)	大阪府出身。大阪府立夕陽丘高等学校音楽科を経て、京都市立芸術大学首席卒業、同大学大学院を首席修了。新国立劇場オペラ研究所第21期修了。文化庁在外派遣研修員としてイタリア・パルマ音楽院を最優秀の成績で修了。
高本知弥 (コントラバス)	8. 12. 15 (1公演)	兵庫県出身。兵庫県立西宮高等学校音楽科、東京藝術大学音楽学部器楽科卒業、同大学大学院音楽研究科修了。スーパーキッズ・オーケストラ、兵庫芸術文化センター管弦楽団を経て、広島交響楽団首席奏者。
内山建人 (バス・バリトン)	9. 1. 19 (1公演)	大阪府出身。京都市立芸術大学大学院修了。文化庁海外派遣研修生としてドイツ・ベルリン芸術大学大学院オペラ科を修了。飯塚新人音楽コンクール第3位など国内外で受賞。
島田菜摘 (マリンバ、打楽器)	9. 3. 2 (1公演)	兵庫県出身。兵庫県立西宮高等学校音楽科、同志社女子大学音楽学科卒業、同大学音楽専攻科修了。現代音楽演奏コンクール「競奏XV」第1位など受賞多数。
合 計		10事業 10公演

<音楽事業アドバイザー会議>

センターの主催する音楽事業の中で、兵庫・関西ゆかりの若手アーティスト・人材を登用する普及事業（ワンコイン・コンサート等）の出演者候補について発掘・審議するため、音楽事業アドバイザー会議を開催  
(アドバイザー)

中村孝義 (大阪音楽大学名誉教授、元大阪音楽大学理事長・学長)、藤本賢市 (神戸新聞姫路本社)、青木さやか (読売新聞)、小味渕彦之 (音楽評論家)

(ウ) ワンコイン・コンサート NO.1 アーティスト アンコール・リサイタル

2025年の出演アーティストの中から選出 (神戸女学院小ホール)

演 目	公演年月日	出演者等
渡辺紗蘭 ヴァイオリン・リサイタル	9. 3. 24 (1公演)	兵庫県出身。東京音楽大学在学中 (特別特待奨学生)。第91回日本音楽コンクール第1位、第25回松方ホール音楽賞ほか受賞。兵庫芸術文化センター管弦楽団などと共演。使用楽器は (一財) ITOH 貸与の1779年製 J. B. グァダニーニ。
合 計		1事業 1公演

(エ) ワンコイン・コンサート出演者お披露目 新春・顔見世コンサート

次年度ワンコイン・コンサート出演者と新年を祝うコンサート (KOBELCO 大ホール)

演 目	公演年月日	出演者等
次年度ワンコイン・コンサート出演者お披露目 新春・顔見世コンサート	9. 1. 3 (1公演)	次年度ワンコイン・コンサート出演者
合 計		1 事業 1 公演

(オ) プロデュースオペラ関連企画 (阪急中ホール)

芸術監督プロデュースオペラをより楽しんでいただくため、気鋭の関西出身・拠点出演者・スタッフによるハイライトコンサートを開催。また、専門家、演奏家等のレクチャー・トークを実施し、広範囲な集客 (裾野の拡大) をめざす。

演 目	公演年月日	出演者等
「カルメン」 ハイライトコンサート ～ええとこどり！ *再掲	8. 4. 15 ～16 (2公演)	(カルメン) 十合翔子/伊藤絵美、(ドン・ホセ) 谷口耕平/矢野勇志、(ミカエラ) 藤村江李奈/野口真湖、(エスカミーリョ) 内山建人/平 欣史 (以上、ダブルキャスト)、伊原敏行 (ピアノ/お話)、西尾麻貴 (ピアノ)、奥村啓吾 (構成・演出))
	8. 4. 18	赤穂市文化会館小ホール (432 席)
	4. 19	洲本市文化体育館文化ホール (540 席)
	4. 25	三田市郷の音ホール小ホール (358 席)
	4. 26	養父市立やぶ市民交流広場ホール (651 席)
	4. 29	小野市うるおい交流館エクラホール (502 席)
	5. 2	稲美町立文化会館コスモホール (703 席)
	5. 3	西神中央ホール (500 席)
	5. 9	丹波篠山市立田園交響ホール (800 席)
	5. 10	福崎町エルデホール (300 席)
	5. 16	多可町文化会館ベルディーホール (598 席)
	5. 17	明石市市民会館大ホール (1000 席)
「カルメン」ワンコイン・プレ・レクチャー *再掲 (阪急中ホール)	8. 6. 10 (2公演)	講師：城谷正博 (新国立劇場オペラ音楽ヘッドコーチ) ※同日 2 回
合 計		2 事業 15 公演 11 公演 (県内公演)

(カ) ドリーム・コンチェルト (KOBELCO 大ホール)

ワンコイン・コンサート出演者と芸術文化センター管弦楽団によるスペシャル・コンサートを開催

演 目	公演年月日	出演者等
ドリーム・コンチェルト *冠協賛：西宮ロータリークラブ H24 年から 16 回目 協賛継続	8. 5. 9 (1公演)	指揮：出口大地 独奏：前田妃奈 (ヴァイオリン)、 松原みなみ (ソプラノ)、 湯浅貴斗 (バス・バリトン)、 尾城杏奈 (ピアノ) 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団
合 計		1 事業 1 公演

(キ) 舞台芸術団体フェスティバル (共催) (県域団体)

	演 目	公演年月日	主催団体
KOBELCO大ホール	邦楽 第91回定期演奏会	8. 8. 23	新絃社
	ひょうごブラスフェスティバル	8. 9. 21	兵庫県吹奏楽連盟
	テノール・サミット 2026	8. 9. 26	テノール・サミット 2026 実行委員会
阪急中ホール	Chain 4	8. 8. 22	河合美智子モダンダンススタジオ
	第1回日本タップダンスフェスティバル in 関西 2026	8. 9. 5 (2公演)	株式会社 G・E-JAPAN
	ひょうご邦楽の祭典	8. 9. 6	兵庫県箏絃連盟
	ひょうご演劇祭「きらめく星座」	8. 9. 23	兵庫県劇団協議会
	NOH Art Pageant TSUCHIGUMO (能「土蜘蛛」)	8. 9. 26	西宮文化協会
神戸女学院小ホール	アンサンブル・フェスティバル 兵庫 2026	8. 9. 13	兵庫県音楽活動推進会議
	安藝榮子と仲間たちー幸せを願って	8. 9. 20	安藝榮子と仲間たち
	アンサンブルで“ほっ” vol.6	8. 9. 27	アンサンブル レガーマ
合 計		11 事業	12 公演

② ピッコロ劇団公演 (共催) (阪急中ホール)

演 目	公演年月日	出演者等
ファミリー劇場 「《不思議の国のアリスの》帽子屋さんのお茶の会」	8. 12. 19 ~20 (3公演)	作: 別役 実 演出: 吉村祐樹 (ピッコロ劇団) 出演: ピッコロ劇団員、オーディションによる子どもたち
兵庫県立ピッコロ劇団 第87回公演 ピッコロシアタープロデュース 「九鬼家の茶碗」	9. 2. 12 ~14 (5公演)	作・演出: G 2 出演: ピッコロ劇団員 ほか
合 計		2 事業 8 公演

## 2 兵庫芸術文化センター管弦楽団事業

兵庫県立芸術文化センター専属のプロオーケストラとして、毎年世界各地でオーディションを実施し、優秀な若手演奏家を中心に構成する兵庫ならではのユニークな『フレッシュでインターナショナル』なオーケストラ。また、兵庫から世界に人材を育て発信する『オーケストラアカデミー』の要素も有する「兵庫芸術文化センター管弦楽団」では、①定期演奏会の開催、プロデュースオペラ公演への出演をはじめ、②室内楽演奏会や③県内各地でのアウトリーチ活動など、「パブリックシアター」の顔にふさわしい多彩な活動を展開していく。(県内 41 市町一巡達成 H26. 4 月)

- コアメンバー（10 型 2 管）をベースに、レジデント・プレイヤーを加え 12 型（標準）、アソシエイト・プレイヤーを加え 14 型（大規模編成）にも安定的・フレキシブルに対応。
- クオリティの高い演奏を提供するとともにアカデミーとしてコアメンバーをリードするため弦パート・トップ中心に「ゲストトップ」奏者（国内オーケストラ首席級）を招聘
  - ・芸術監督：佐渡裕                      ・レジデント・コンダクター：岩村力
  - ・コンサートマスター：田野倉雅秋、豊嶋泰嗣（アドヴァイザー兼務）
  - ・セクションアドヴァイザー（R6. 9～）：西谷牧人、ハート・ホルシヨス、オットー・クリストフ
  - ・コアメンバー：14 パート 48 人  
 （10 型 2 管編成、35 歳以下、3 年契約、全国・世界各地でのオーディションで選抜）  
 （令和 7 年 9 月現在：8 カ国 14 パート 42 人 平均年齢 26.1 歳）

### (1) 演奏会活動

フレッシュでインターナショナルなオーケストラの魅力ある演奏会を実施

#### ① 定期演奏会（KOBELCO 大ホール）

佐渡裕芸術監督をはじめ、世界一流の客演指揮者やソリストを招聘し、古典から現代曲まで魅力あるレパートリーを、大小さまざまな編成で演奏し、質の高い芸術性を追求する。

演 目	公演年月日	出演者等
[2025-2026 シーズン] 第 169 回 シューマン：ヴァイオリン協奏曲	8. 6. 12 ～14 (3公演)	指 揮：下野竜也 ヴァイオリン：五明佳廉
第 170 回 マーラー：交響曲第 1 番「巨人」	8. 8. 7 ～9 (3公演)	指 揮：佐渡裕
[2026-2027 シーズン] 第 171 回 M. リンデベルグ：ヴァイオリン協奏曲	8. 9. 11 ～13 (3公演)	指 揮：佐渡裕 ヴァイオリン：ローレンス・パワー
第 172 回 シューマン：チェロ協奏曲	8. 10. 16 ～18 (3公演)	指 揮：ユベール・スダーン チェロ：ヨハネス・モーザー
第 173 回 ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第 2 番	8. 11. 6 ～8 (3公演)	指 揮：ミヒャエル・ザンデルリンク ピアノ：ソフィア・リュウ
第 174 回 マーラー：交響曲第 7 番	8. 12. 11 ～13 (3公演)	指 揮：カーチン・ウォン
第 175 回 サン＝サーンス：ヴァイオリン協奏曲第 3 番	9. 1. 15 ～17 (3公演)	指 揮：佐渡裕 ヴァイオリン：アレクサンドラ・コヌノヴァ

演 目	公演年月日	出演者等
第176回 エルガー：チェロ協奏曲	9. 3. 19 ～21 (3公演)	指 揮：ポール・ダニエル チェロ：鳥羽咲音
第177回 石井眞木：モノプリズム	9. 5. 14 ～16 (3公演)	指 揮：角田鋼亮 太 鼓：林 英哲
第178回 ラヴェル：左手のためのピアノ協奏曲	9. 6. 11 ～13 (3公演)	指 揮：シルヴァン・カンブルラン ピアノ：阪田知樹
第179回 武満徹：独奏クラリネットとオーケストラのための《ファンタズマ/カトス》	9. 8. 6 ～8 (3公演)	指 揮：佐渡裕 クラリネット：リチャード・ストルツマン
合 計	8 事業	24 公演 (令和8年度)

\*2025-2026 シーズン定期会員数 4,142 (金曜1,402、土曜1,363、日曜1,377)

## ② 特別演奏会

名曲コンサート、ファミリーコンサート、ポップスコンサートなど親しみやすい公演により幅広い観客ニーズに応え、クラシックファン層を広げる。

演 目	公演年月日	出演者等
春休み子どものためのオーケストラ・コンサート (KOBELCO 大ホール)	8. 4. 4 (1公演)	指 揮：岩村力 トランペット：エリック・ミヤシロ
リサイタルシリーズ (神戸女学院小ホール)	8. 5. 2 (1公演)	ヴァイオラ：チョ・ウソク ホルン：宇名根叶多
	8. 5. 26 (1公演)	ヴァイオリン：大塚聖莉 フルート：シン・イェジ、オーボエ：井上慎介 クラリネット：キム・リンサ、バスーン：ウシン・西川 ホルン：宇名根叶多
豊嶋泰嗣デビュー40周年 特別演奏会 (KOBELCO 大ホール)	8. 10. 3 (1公演)	指 揮：調整中 ヴァイオリン：豊嶋泰嗣 ピアノ：調整中
第40回名曲コンサート (KOBELCO 大ホール)	8. 12. 19 (1公演)	指揮・ヴァイオリン：ライナー・ホーネック ピアノ：菊池洋子
下野竜也&三浦文彰シリーズⅠ (KOBELCO 大ホール)	9. 2. 20 (1公演)	指 揮：下野竜也 ヴァイオリン：三浦文彰
下野竜也&三浦文彰シリーズⅡ (KOBELCO 大ホール)	9. 3. 27 (1公演)	
合 計	7 事業	7 公演

③ 室内楽演奏会（神戸女学院小ホール）

バロックから現代曲まで、さまざまなレパートリーを多様な編成で演奏し、室内楽の魅力を伝える。芸術文化センター管弦楽団コアメンバーと特別契約奏者との組み合わせ。幅広い編成で高度な公演を実現。

演 目		公演年月日	出演者等
室内楽シリーズ	第88回 PAC STRINGS! 弦楽器セクション	8. 4. 25 (1公演)	ヴァイオリン：アントン・バラコフスキー
	第89回 PAC WINDS 木管楽器セクション	8. 5. 16 (1公演)	オーボエ：クリストフ・ハルトマン
合 計		2事業	2公演

④ センター事業への出演 3事業 10公演（再掲）

佐渡芸術監督のプロデュースするオペラ・コンサート公演等で演奏

(2) 体験教育・普及活動

① 青少年芸術体験事業「わくわくオーケストラ教室」の実施 40公演 KOBELCO 大ホール

兵庫県内の中学1年生（約4万5千人全員）を対象に、本格的な交響楽団の演奏に親しむ機会を設けることにより、これからの社会を担う生徒の豊かな感性、創造力を育むとともに、音楽教育（体験教育）の振興を図る。

【企 画】佐渡裕芸術監督 【指 揮】岩村力（レジデント・コンダクター）ほか

【内 容】第1部 参加・体験コーナー：ホールの紹介、楽器紹介  
第2部 鑑賞コーナー：楽曲の紹介、演奏会

【公演時間】約1時間（70分）

【時 期】令和8年5月19日（火）～令和9年1月28日（木）

② アウトリーチ活動

芸術文化センターからの遠隔地域や日頃音楽に触れる機会の少ない方々に音楽の魅力・感動を伝え、音楽の普及と楽団のPRを図るため、アウトリーチ活動を展開し、活動先については公募制度も導入・実施（医療機関、福祉施設、小中高等学校、参画と協働を実践する地域活動への参加等）

\*平成29年度～小学校・特別支援学校を対象としたアウトリーチ（公募により募集）を重点実施

③ スーパーキッズ・オーケストラ公演

令和8年8月29日（土）～30日（日） 2公演 KOBELCO 大ホール

(3) 多彩な演奏活動

楽団の魅力を広く県内・全国へPR（県内外からの依頼公演等）

① 県内外ホールと連携した演奏活動

(ア) 佐渡裕芸術監督指揮によるコンサート

三田市（郷の音ホール）

9月15日（火・祝）

明石市（明石市民会館）

9月17日（木）

② 幅広いニーズに対応した演奏活動

(ア) モンスターハンター（KOBELCO 大ホール）2公演

9月22日（火・祝）～23日（水・祝）

(イ) 武庫川コンチェルト（甲子園会館）

11月15日（日）

(ウ) 須磨学園コンサート（神戸国際会館）

11月30日（月）

(エ) 1万人の第九（大阪城ホール）

12月6日（日）

#### (4) コアメンバー演奏力の強化

##### ① PACシーズン・オープニング・フェスティバル（ミュージックキャンプ）

若手育成という当楽団の性格から、そのミッションの一つであるアカデミー機能のより一層の強化、充実を目的に、シーズン・スケジュールの初め（9月）に国内外より著名な指導者陣（スペシャル・ゲスト・プレイヤー）を招き、オーケストラのレベルアップに不可欠なアンサンブル力の強化を図る（ミュージックキャンプ）。

また、芸術文化センターだけでなく、県内市町の文化施設においても開催（共同主催）することで、地域における音楽文化の発展に寄与する（フェスティバル）。

【時 期】令和8年9月1日（火）～9月5日（土）5日間

\*直後の佐渡監督指揮・第171回定期演奏会（9/11～9/13）に成果を繋げる

【会 場】養父市立やぶ市民交流広場

【内 容】①室内楽プログラム（スペシャル・ゲスト・プレイヤーのリーダーシップ）

②オーケストラプログラム（指揮：佐渡芸術監督）

③アウトリーチコンサート、④リハーサル公開、マスタークラス 等

【スケジュール】9月1日（火）～9月2日（水）シーティングオーディション等実施（芸文センター）

9月3日（木）～9月5日（土）リハーサル・公演、マスタークラス、公開リハーサル、アウトリーチ等実施（養父市）

【出 演】佐渡裕（指揮・芸術監督）

兵庫芸術文化センター管弦楽団（コアメンバー）

スペシャル・ゲスト・プレイヤー（調整中）

（開催地）平成25年洲本市⇒平成26年豊岡市⇒平成27年洲本市⇒平成28年篠山市⇒平成29年赤穂市⇒平成30年篠山市  
⇒令和元年明石市⇒令和2年洲本市（中止）⇒令和3年養父市（合宿のみ）⇒令和4年養父市⇒令和5年洲本市⇒令和6年多可町  
⇒令和7年丹波篠山市

② 世界トップ級の奏者を、ソリスト、客演コンマス、パートトップとして招聘（特別契約演奏者）し、当楽団との共演、指導（マスタークラス）により、コアメンバーが世界一流の演奏技術などを体感できる機会を設ける。

#### (5) 東日本大震災復興祈念等の継続的な取組

・スーパーキッズ・オーケストラの継続的な東日本大震災被災地訪問演奏活動

・東日本大震災復興祈念等事業資金

大口の寄附金収入等を「東日本大震災復興祈念等事業資金」として管理し、被災地への支援活動を行い有効活用。

(ア) 財源：寄附金、表彰副賞等

\*第2回貝原俊民美しい兵庫づくり賞副賞（地域政策研究会 500 千円）、神戸新聞平和賞副賞（神戸新聞 300 千円）、福島原発事故賠償金（東京電力 7,386 千円）

大口の寄附金（H25:2,000 千円、H26:4,000 千円、H28:3,182 千円、H29:55,500 千円）等

(イ) 充当事業

(a) スーパーキッズ・オーケストラによる被災地訪問演奏

(b) PACメンバーによる被災地アウトリーチ活動

(c) プロデュースオペラ、楽団定期演奏会等への被災者招待 等

・スーパーキッズ・オーケストラ事業推進資産

サントリーホールディングス（株）がスーパーキッズ・オーケストラの設立趣旨や東日本大震災復興祈念活動に賛同して寄附（平成26年度）いただいた150,000千円を原資に東北への訪問、合宿等の事業活動（平成27年度から10年間）を展開（サントリー「東北サンさんプロジェクト」の一環）、令和7年度以降も同事業へ支援。

<ホール別の主催事業数・公演数>

区 分	芸術文化センター事業		芸術文化センター管弦楽団事業		主催事業 計
	主催事業	舞台芸術団体 フェスティバル 等	演奏活動	青少年芸術体験事業	
KOBELCO 大ホール	41 事業 51 公演	3 事業 3 公演	14 事業 31 公演	1 事業 40 公演	59 事業 125 公演
阪急 中ホール	49 事業 93 公演	7 事業 14 公演	—	—	56 事業 107 公演
神戸女学院 小ホール	31 事業 33 公演	3 事業 3 公演	4 事業 4 公演	—	38 事業 40 公演
小計	121 事業 177 公演	13 事業 20 公演	18 事業 35 公演	1 事業 40 公演	153 事業 272 公演
外部公演	11 公演	—	1 事業 1 公演	—	1 事業 12 公演
楽団外部依頼公演	—	—	6 事業 7 公演	—	6 事業 7 公演
計	121 事業 188 公演	13 事業 20 公演	25 事業 43 公演*	1 事業 40 公演	160 事業 291 公演
【基準】	【36 事業 58 公演】		【48 公演】	【40 公演】	【146 公演】

\*センター事業への出演公演数は含まない。

[注] 上記のほか普及事業開催：広報普及イベント（公開リハーサル、レクチャー・トーク、ワークショップ、バックステージツアー、企画展示、西北活性化協議会イベント等）、楽団アウトリーチ活動等

### 3 芸術文化センター広報・普及活動

#### (1) 広報活動

##### ① 多面的な広報宣伝活動

新聞・テレビ・DM・WEB・メルマガといった様々なメディアを組み合わせるクロスメディア展開により、芸文センターの認知度向上や新たなファンの発掘・裾野拡大、チケット購買促進を図る。

##### (ア) 記者会見等の実施

メディア取材を誘致するために、記者会見、取材会、プレスリリースなどを積極的に実施する。

##### (イ) 広告宣伝の実施

チケット購買促進のために、様々なメディアを活用して効果的な広告宣伝を実施する。

##### ② 自主媒体による展開

##### (ア) 情報誌「ひょうご舞台芸術」の発行【年2回／各6万部】

実施した主催公演を特集した情報誌を半年ごとに発行。先行予約会員ほか、各公共施設等に配布し、芸文センターの舞台芸術を紹介する。

##### (イ) 会報誌の発行【月1回／45,000～60,000部】

先行予約会員向けに主催公演の発売案内とチラシを一緒に送付することにより、チケット購買促進を図る。

##### (ウ) 「公演スケジュール」の発行【月1回／各6,000部】

主催・貸館公演を一覧にした月間スケジュールを発行し、記者や県内施設等に配布して、芸文センター事業を広く周知。

##### (エ) 芸文センターWebサイトの運営 (<https://www.gcenter-hyogo.jp>)

芸文センターの周知及びチケット購買促進を図る。

【主な内容】ニュース&トピックス、施設予約、公演チケット販売など

##### (オ) 特設Webサイト等の運営

##### (a) 佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ特設サイト

プロデュースオペラ2026「カルメン」を紹介する。

【内容】作品・キャスト等の紹介、最新ニュース、過去のオペラ等

##### (b) 兵庫芸術文化センター管弦楽団特設サイト (<https://hpac-orc.jp/>)

楽団の周知及び活動を紹介する。

【内容】演奏会情報、メンバーの紹介、活動紹介、公募情報、最新ニュース等

##### (カ) メールマガジンの発行【月1回以上／約3万人】

発売日前に発売公演情報等を配信するとともに、随時、臨時号を発行する。

##### (キ) SNSの活用

##### (a) 公式X、Instagramアカウント

芸文センターWEBサイト掲載の発売情報やニュース&トピックスなどの情報を拡散する有効な手段として活用する。

##### (b) 管弦楽団(PAC)公式X、Instagram、facebookアカウント

楽団に特化した情報を配信する。

##### (c) プロデュースオペラ公式X、Instagramアカウント

オペラに特化した情報を配信する。

##### (ク) 動画の配信

##### (a) 楽団公式YouTubeの活用

定期演奏会のライブ映像やゲスト奏者の紹介映像を全世界に発信し、楽団及び楽団員の活動を紹介するとともに、国内外の優秀な若手演奏家の楽団入団を促進。

③ 芸術文化センター先行予約会員制度（無料会員）

【特典】チケット先行発売（価格割引なし）インターネット購入  
会報誌（先行予約会員 NEWS）・公演チラシ送付  
情報誌「ひょうご舞台芸術」送付

【会員数】64,789人（県内35,446人・県外29,343人 [令和8年1月17日現在]）

④ チケット販売体制

（ア）チケットオフィスの運営

プレイガイドの電話受付が縮小する中、インターネット環境のない人に対応するため、他の劇場では類を見ない充実した電話受付体制を取るとともに、柔軟な増員対応で電話受付や窓口の混雑緩和を図り、顧客満足度向上を図る。

電話受付の通話録音及び音声自動応答システムにより聞き間違いを防止するなど、サービス品質向上を図るとともに、混雑時でもつながりやすいように問い合わせ専用の電話窓口を設ける。

（イ）チケット販売・会員管理システムの運営

チケット発売日のアクセス集中時でも安定稼働し、利用しやすいオンラインシステムを目指すとともに、「個人情報保護法」に対応したセキュリティ対策を講じる。

（2） 主催事業と連動した普及事業等

主催事業の制作過程や事業内容を観客にわかりやすく理解を深め楽しめるものとするため、楽団の公開リハーサルや芸術監督プロデュースオペラのワークショップ等を実施。

① 公開リハーサル

（ア）佐渡芸術監督プロデュースオペラ

「カルメン」公開リハーサル（KOBELCO 大ホール）

【日程】令和8年7月14日（火）、15日（水）

（イ）楽団「定期演奏会」公開リハーサル（KOBELCO 大ホール）

定期会員を対象に「定期演奏会」の公開リハーサルを実施 [各1回、計8回]

② 講演会・ワークショップ

（ア）世界音楽図鑑「トゥラン」関連企画・講演会「中央アジアの『今』を知る」（研修室）

【日程】令和8年5月24日（日）

（イ）オペラ創造ワークショップ「カルメン」の制作アトリエ（KOBELCO 大ホール）

【日程】令和8年7月16日（木）

【登壇者】佐渡裕（指揮・芸術監督） ほか

（ウ）世界音楽図鑑「ケルティック・クリスマス」ワークショップ（阪急中ホール）

【日程】令和8年12月10日（木）

③ バックステージツアー

一般の方を対象に、普段、目にするのでできない劇場の舞台裏や舞台機構、公演準備作業の様子などを案内する見学会を開催。

内 容		開催日
兵庫県立芸術文化センターのなるほどバックステージツアー2026		
第1回	なるほど「KOBELCO 大ホール」編	調整中 (2回)
第2回	なるほど「PAC オーケストラ」編	調整中 (2回)
第3回	夏休みの「わくわく探検隊ツアー」	調整中 (2回)

内 容			開催日
第4回	なるほど「建物と仕事人」編		調整中 (2回)
第5回	なるほど「阪急中ホール」編		調整中 (2回)
第6回	なるほど「神戸女学院小ホール」編		調整中 (1回)
合 計			6事業 11回

#### ④ 薄井憲二バレエ・コレクション

故薄井憲二氏（舞踊家、日本バレエ協会元会長）が世界各地から収集した世界有数の規模を誇るバレエ関連資料（書簡、プログラム、絵画・ポスター、書籍等約6,500点）、同バレエ・コレクションの概要、展示情報などをインターネットで配信するとともに、年に4回の常設展示を実施。また、美術館等での展示やバレエ公演のパンフレットのために貸し出す。

#### ⑤ 企画展示（共通ロビー情報コーナー「ポッケ」）

##### （ア）バレエ・コレクション企画展示（年2回）

故薄井憲二氏の貴重なバレエ・コレクションを活用し、その全貌を紹介することでバレエの歴史を概観する。

##### （イ）主催事業関連企画展示

自主企画公演等と連動した展示を行い事業の効果的なPRを図る。

【時期】令和8年7月（プロデュースオペラ「カルメン」）ほか

#### （3） ひょうごプレミアム芸術デーの開催

県民の芸術文化に触れる機会を充実するため、県立芸術文化施設の無料開放や、特別イベントを実施するひょうごプレミアム芸術デーを、7月の佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ前夜祭に合わせて開催

#### 4 施設の管理運営事業（発表・交流の場の提供）

##### 施設運営の基本コンセプト

- ① 発信する劇場としてセンター・楽団自主企画事業を中心に運営
- ② 専門性の高い劇場（機能・設備・スタッフ）の特性が生かされる舞台芸術公演の利用促進
- ③ 県民の多様な創造活動の発表の場、劇場空間への親しみ・交流機会を通じて芸術文化の裾野拡大
- ④ フレキシブルで使い勝手の良い運営、開放性と賑わいで街づくりの一翼を形成

#### （１） 施設の管理運営

##### \* 施設利用（貸館）受付の状況

（i） 本格的舞台芸術公演の優先利用受付（18か月前受付）

毎月1日から18か月後の月分を受付

（ii） 一般（貸館）利用受付

a ホール（12か月前受付）

毎月1日に翌年度の当該月分を受付。受付開始後は4か月前の末日までに随時受付。

【ホール利用計画】 令和8年4月～令和9年3月（令和8年2月現在）

ホール	開館日数		利用日数		利用日数内訳	
	基準	計画	基準	計画	主催事業	貸館事業
					計画	計画
KOBELCO 大ホール	290	311	203 (70%)	279 (137.4%) [89.7%]	215 [77.1%]	64 [22.9%]
阪急 中ホール		298		252 (124.1%) [84.6%]	195 [77.4%]	57 [22.6%]
神戸女学院 小ホール		304		278 (136.9%) [91.4%]	67 [24.1%]	211 [75.9%]

※ 基準：県収支枠組における施設維持管理費、スタッフ配置、施設使用料収入の算定基礎としたもの

※ 利用日数の（ ）内：利用日数（基準）と比較した利用率、[ ]内：開館日数（計画）と比較した利用率

※ 利用日数内訳の[ ]内：利用日数（計画）と比較した利用率

b スタジオ、リハーサル室（3か月前受付）

毎月1日に3か月後の月分を受付。受付開始後は、前日まで随時受付。

##### \* 舞台芸術専門スタッフによる公演サポート（創造支援）

舞台技術（舞台、音響、照明）専門スタッフをはじめ各部門の専門スタッフにより、施設利用者の創作・発表を企画段階から様々な角度より支援する。

#### ① 人材育成

##### （ア）舞台技術関係者等の育成

舞台技術の現場に携わるスタッフや舞台技術専攻学生等を対象に、センターの舞台設備を活用して、劇場のあり方・技術向上の観点から舞台技術を継承・発展、創造活動支援を促進（舞台技術セミナー 2月開催予定）。

(イ) アートマネジメント関係の人材育成

将来を担う人材育成のための実践的なセミナーなどを業界関係者や大学等と連携して実施。

- (a) アートマネジメント講座の開催（2～3月）  
アートマネジメントに必要な専門的知識・技術の習得を目的として開催
- (b) 大学でのアートマネジメント講座  
大学「アートマネジメント講座」への講師派遣（通年）  
大阪芸術大学、武庫川女子大学、甲南大学
- (c) 県と神戸女学院大学との連携協定に基づく講義等
- (d) トライやる・ウィーク 中学2年生受入（5月～6月）
- (e) 社会人研修受入
- (f) 芸術文化観光専門職大学の臨地実務実習受入

② 地域連携・にぎわいづくり事業

(ア) プロデュースオペラ「カルメン」前夜祭（再掲）

「カルメン」のロングラン公演の成功を祝い開催

【時 期】 令和8年7月16日（木）

【内 容】 ①「カルメン」関連ミニコンサート

②参加者全員での「にしきたずっと節」ほか

【主 催】 西北活性化協議会

(イ) <LALALAにしきたミュージシャン・コンテスト2026（第18回）>

“にしきたを音楽の街に”をテーマに、街のアーティストの活動支援を行う。

【時 期】 令和8年11月12日（木）（阪急中ホール）（決戦）

（予選：令和8年9～10月実施）

【内 容】 ジャズ・クラシック・軽音楽・コーラス等

【主 催】 西北活性化協議会

(ウ) クリスマス・イベント

【時 期】 令和8年12月（芸術文化センター1階メインエントランス）

【主 催】 西北活性化協議会

\* 地元企業との連携

県内外からのお客様へのホスピタリティの向上の一環として、常日頃から関係の深い地元企業職員をホールに招き相互研修会を開催（阪急タクシー、阪急西宮北口駅）。

(2) 公立ホール等との連携

① 公立文化施設協議会等

兵庫県公立文化施設協議会（加盟37ホール）会長（事務局）、全国公立文化施設協会近畿支部、多面・大規模舞台劇場協議会、劇場、音楽堂等連絡協議会（全国の劇場・音楽堂等約65館。平成26年設立）メンバーとして県内外ホール間の連携を深める。

② 公共劇場舞台技術者連絡会

公共劇場舞台技術者連絡会（公立の劇場やホールで舞台芸術を支える劇場技術者が連携して平成21年設立：加盟28ホール）の顧問として、舞台技術員が参画し、各劇場間の諸問題の調査研究、情報交換等を通して、公演の円滑な進行管理と安全確保、技術的専門性の確立を目指す。

③ 主な全国の公立ホール整備への支援

センター職員の委員就任や視察受入、講演等を通じてアドバイス。

[参考] ・仙台市（宮城県）：「兵庫・芸術文化センター」をモデルに復興のシンボルとして「新音楽ホール」整備をめざし、平成29年に「音楽ホール検討懇話会」を設置。総括アドバイザーが（仮称）国際センター駅北地区複合施設管理運営アドバイザーに委嘱された。

- ・枚方市（大阪府）：老朽化した市民会館に替わる「総合文化施設」（枚方市総合文化芸術センター）を整備。令和2年度に総括アドバイザーが文化芸術振興審議会委員に就任。令和3年8月30日オープン。
- ・札幌市：札幌市の文化事業振興のため、平成30年に完成した札幌文化芸術劇場に導入する舞台機構のシステム構築に係る助言を求められ、舞台機構アドバイザーとして当センターの舞台技術の専門職員を意見交換会に派遣（平成29年度）。
- ・養父市：職員が専門委員に就任。令和3年9月14日オープン。
- ＊その他、全国から視察を受入（令和4年度：鳥取県文化振興財団、広島県庁、宮城県庁、いわき芸術文化交流館、静岡県議会、淡路教育事務協議会、東京都港区議会、仙台市議会、秋田県庁、令和5年度：仙台市役所、長野県議会、令和7年度：加古川市役所、仙台市役所、宮城県庁、熊本県庁）

### （3）各ホールネーミングライツ・スポンサー

【愛称の使用期間】

令和8年4月1日から令和11年3月31日まで（3年間） ＊7期目

【ネーミングライツスポンサー及び愛称】

正式名称	ネーミングライツスポンサー	愛称	金額
大ホール	株式会社神戸製鋼所	KOBELCO 大ホール	3,000万円（税抜）
中ホール	阪急電鉄株式会社	阪急 中ホール	1,500万円（税抜）
小ホール	学校法人神戸女学院	神戸女学院小ホール	500万円（税抜）

（主な表示物）看板、ポスター、チラシ、会報誌、情報誌、広告、ホームページ、チケット

### （4）賛助会員制度及び各種助成制度の活用等

#### ① 賛助会員制度

芸文センター及び楽団活動を支援してもらうため、芸術文化に関心を寄せる地元企業を中心に賛助会員を募る（令和8年1月現在16社）。

【実績】賛助会員の種別

- ・特別賛助会員
  - ゴールド会員 年額300万円（1社）
  - シルバー会員 年額100万円（2社）
- ・一般賛助会員（1口） 年額5万円（13社27口）

#### ② 各種助成制度

県補助金をベースに経営効率を高めるとともに、ファンの期待に応えるメニュー充実、舞台グレードアップ、公演数拡大、広報強化等の資金として、文化庁や民間財団等の公的助成の積極的な獲得に努める。

＊（独法）日本芸術文化振興会 劇場・音楽堂等機能強化推進事業、舞台芸術等総合支援事業、（一財）地域創造、（公財）三菱UFJ信託芸術財団ほか

#### ③ 民間支援の受入れ（主なもの）

（ア）NPO法人イエロー・エンジェル（理事長：宗次徳二氏・名古屋市）によるコントラバスの無償貸与

コントラバス名：ヤナリス・ガリアーノ（1776年・イタリア製）ほか

#### ④ 多額寄附金の活用

（ア）三村正之氏からの寄附

兵庫県立芸術文化センター管弦楽団をはじめとした、新進音楽家の活動支援及び次世代を担う子どもたちの音楽体験活動を支援。

金額50,000千円「Aloha Mimura 基金（兵庫県立芸術文化センター音楽振興資産）」として管理・運営。音楽事業活動に充当。

(イ) スーパーキッズ・オーケストラ事業推進資産（再掲）

サントリーホールディングス（株）がスーパーキッズ・オーケストラの設立趣旨や東日本大震災復興祈念活動に賛同して寄附（平成 26 年度）いただいた 150,000 千円を原資に東北への訪問、合宿等の事業活動を展開（サントリー「東北サンさんプロジェクト」）。

(ウ) ふるさとひょうご寄附金「県立芸術文化センター応援プロジェクト事業」

兵庫県の「ふるさとひょうご寄附金」に「県立芸術文化センター応援プロジェクト」のメニューを設けており、集まった寄附金を原資として、障がいのある方、高齢者、妊婦の方など誰もが快適に舞台芸術を楽しんでいただけるよう、手すりやベンチの設置などより利用しやすい施設づくりに活用。

(5) 中長期的取り組み

(ア) 芸術文化センター運営委員会

センターの運営について、運営委員会を開催し、事業の中長期的企画、事業展開、施設運営全般に関して経営面など幅広い観点から検討・意見交換を行う。

【時期】 年 1 回

【委員】 学識者、舞台芸術の専門家、マスコミ・経済界のリーダー、センター関係者等

(イ) 次年度以降の事業計画づくり

多彩な舞台芸術を創造・発信していく芸術文化センター及び同管弦楽団の次年度以降の事業展開に向けて、芸術監督とともに長期的な計画づくりを進め、企画検討、事前調査、出演者等の交渉・調整、プランの作成、舞台の制作準備など、事業準備を行う。

5 その他、施設利用者の利便向上への取り組み（収益事業）

- ・ 有料駐車場の運営（時間貸、収容台数 約 100 台）
- ・ レストランスペースの貸出
- ・ 関連グッズのショップ設置・運営

## 〔尼崎青少年創造劇場の管理・運営（概要）〕

### 1 ピッコロシアター鑑賞劇場

県民文化の高揚と地域文化の振興を図るため、演劇、伝統芸能など優れた舞台芸術を紹介する鑑賞劇場8事業を開催する。

- (1) 文学座公演「かさぶた式部考」(R8.6.13(土)・14(日))  
(作:秋元松代 演出:松本祐子(文学座))
- (2) ベイビー・プログラム(乳幼児と家族向け)  
「ヒョーゲンアソビノバ」(R8.7.11(土))  
「ピクニックにぴったり!」(R8.10.9(金))
- (3) 桂米朝一門による「ピッコロ寄席」(5席)

### 2 2026 ピッコロフェスティバル

開館記念日のある8月に演劇や音楽等の成果発表の場として施設を無償提供するとともに、舞台芸術に親しむことができるワークショップ等の企画を実施する。

### 3 ピッコロ劇団事業

令和8年度は、新作書き下ろし作品3本の上演に加え、前劇団代表・別役実氏がピッコロ劇団のために書き換えた作品、並びに現劇団代表・岩松了による演出作品など、新規性と話題性を兼ね備えたラインナップを展開するとともに、劇場へのアクセシビリティを高める鑑賞サポートを実施する。また、演劇の指導・ワークショップに劇団員を派遣する。

- (1) 第85回公演「走る本屋と星降る島」  
R8.5.29(金)・30(土)・31(日)、6.6(土)・7(日)  
(作:伊地知克介/演出:岡田力)
- (2) オフシアターVol.42「おかしな二人～女性版～」  
R8.4.10(金)・11(土)・12(日)  
(作:ニール・サイモン/訳:酒井洋子/演出:木下鮎美)
- (3) ファミリー劇場「《不思議の国のアリスの》帽子屋さんのお茶の会」  
R8.8.1(土)・2(日)(大ホール)/R8.12.19(土)・20(日)(県立芸術文化センター 阪急中ホール)  
(作:別役実/演出:吉村祐樹)
- (4) 第86回公演「プラズマ金魚(仮)」  
R8.9.18(金)・19(土)・20(日)(作:上原裕美/演出:岩松了)
- (5) 第87回公演ピッコロシアタープロデュース「九鬼家の茶碗(仮)」  
R9.2.12(金)・13(土)・14(日)(県立芸術文化センター 阪急中ホール)  
(作・演出:G2)
- (6) わくわくステージ(中学生のための演劇鑑賞体験事業)  
春期「走る本屋と星降る島」(作:伊地知克介/演出:岡田力)  
秋期「《不思議の国のアリスの》帽子屋さんのお茶の会」(作:別役実/演出:吉村祐樹)
- (7) おでかけステージ(小学校公演)  
R8.10・11「タラレバ星人と地球のキキ」(台本:谷口雅美・原竹志/演出:原竹志)

### 4 人材育成・体験活動事業

- (1) ピッコロ演劇学校(本科(40名)、研究科(20名))、舞台技術学校(30名)の運営
- (2) ピッコロシアター文化セミナー&文化セミナーラボ  
〔文化セミナー〕  
〈106〉 R8.7.11(土) 出演=松岡和子(翻訳家・演劇評論家)、岩松了(ピッコロ劇団代表)  
〔文化セミナーラボ〕小規模の実験的なセミナーを3回程度開催する。
- (3) ピッコロ実技教室  
「ちょっと!狂言～入門編～」や「40歳からのワンコイン演劇講座」、「ピッコロオペラ教室」など伝統芸能や演劇等の体験的学習、解説をまじえた実技教室を開催する。
- (4) ひょうごプレミアム芸術デー  
文化セミナーやベイビー・プログラムを開催し芸術文化に親しむ機会を提供する。

### 5 施設の管理運営事業

利用者数はコロナ禍前まで回復した(R2年度29,120人→R8.1末89,224人)。今後とも、貸館予約システムの円滑な運用など、安全・安心で快適に利用できる施設の管理運営に取り組む。

## 〔尼崎青少年創造劇場の管理・運営（詳細）〕

尼崎青少年創造劇場は、①地域における文化創造の芽を育む舞台芸術創造活動の場の提供、②「子どもと楽しむ落語会」等伝統芸能の青少年・子ども向け事業の展開、③「県立ピッコロ劇団」による良質な演劇を通じた感動の提供、④ピッコロ劇団員による学校現場等における表現活動の普及、⑤「ピッコロ演劇学校・舞台技術学校」の運営による人材育成、⑥演劇等舞台芸術関係資料の閲覧・提供等を通じた県民の自主的な文化活動の促進に、重点的に取り組むとともに、県民にとって安全・安心、快適な施設を目指して親切かつ効率的な運営を心がける。

### 1 ピッコロシアター鑑賞劇場

県民文化の高揚と地域文化の振興を図るため、演劇、伝統芸能などの優れた舞台芸術を紹介する鑑賞劇場を開催する。また、毎年恒例の子どもと大人が一緒に楽しめる落語会など、明日のひょうごを担う子どもたちに伝統ある舞台芸術にふれる機会を提供する。

#### 令和8年4月～9年3月ラインナップ〔8事業（演劇3、落語5）〕

事業名	公演年月日	出演者等
ピッコロ寄席 「桂ごこば一門会」 (大ホール)	8. 5. 16(土)	出演＝桂塩鯛ほか(調整)
文学座公演 「かさぶた式部考」 (大ホール)	8. 6. 13(土) ・14(日)	作＝秋元松代 演出＝松本祐子(文学座) 出演＝金沢映実、八十川真由野、 石井麗子、名越志保 ほか
ベイビー・プログラム 「ヒョーゲンアソビノバ」 (中ホール)	8. 7. 11(土)	出演＝調整中
ピッコロ寄席 「桂枝雀一門会」 (大ホール)	8. 8. 16(日)	出演＝桂南光、桂雀三郎、桂文之助 ほか
ベイビー・プログラム 「ピクニックにぴったり！」 (小ホール)	8. 10. 9(金)	出演＝人形劇団むすび座
ピッコロ寄席 「桂吉朝一門会」 (大ホール)	8. 12. 12(土)	出演＝桂あさ吉、桂吉弥 ほか
ピッコロ寄席 「桂米團治独演会」 (大ホール)	9. 2. 7(日)	出演＝桂米團治 ほか
ピッコロ寄席 「子どもと楽しむ落語会」 (大ホール)	9. 3. 13(土)	出演＝桂吉弥 ほか
合 計 8事業		

## 2 2026 ピッコロフェスティバル

開館記念日（8月19日）を含む8月の1か月間、地域で創造活動に取り組む若者たちの演劇、音楽などの成果発表と交流の場として、施設を無償提供するとともに、鑑賞や体験等を通じた舞台芸術に親しむ機会とするため、県民の参加と協働による「ピッコロフェスティバル」を開催する。

【時期】 令和8年8月1日（土）～8月30日（日）

【場所】 ピッコロシアター各ホール、閲覧室など

【事業内容（予定）】

区分	内容
県民参加企画	参加団体を公募して開催 *演劇：小・中・高校の部、大学・一般の部 (舞台施設・設備を無償提供)
地域団体連携企画	〈阪神間など地域の文化団体組織と連携〉 「人形劇フェスタ阪神」「バリアフリーコンサート」 〈高校演劇研究会阪神支部と連携〉 高校生向け演劇ワークショップを開催 (企画運営は団体、舞台施設・設備を無償提供)
体験企画	〈伝統芸能〉 大蔵流狂言方を講師に招いての「ちゃっと！狂言～入門編～」を開催 〈コミュニケーション力・表現力〉 新聞記事を題材にした「まわしよみ新聞&演劇ワークショップ」 〈演劇〉 中高年を対象にした「40歳からのワンコイン演劇講座」 中学生等を対象にした「ピッコロ・ティーンズ・ワークショップ」（新規事業）
特別企画	〈ピッコロフェスティバルの期間中の開催〉 ピッコロ劇団ファミリー劇場公演「《不思議の国のアリスの》帽子屋さんのお茶の会」 ピッコロ寄席など

## 3 県立ピッコロ劇団事業

### (1) ピッコロ劇団公演

優れた舞台芸術の創造と地域文化の振興を図るため、令和8年度に設立32周年を迎える県立ピッコロ劇団を運営し、ピッコロシアターでの多彩な舞台公演（本公演、ファミリー劇場など劇場へのアクセシビリティを高める鑑賞サポートを継続）や演劇学校のほか高等学校等の教育機関において演劇指導等人材育成事業を展開する。

また、第2の活動拠点である県立芸術文化センター（西宮市）では12月にファミリー劇場公演を、2月には関西の演劇人との共同製作によるプロデュース公演を上演する。

劇団代表： 岩松 了 劇作家・演出家・俳優

〔 第33回岸田國土戯曲賞、第28回紀伊國屋演劇賞個人賞、  
第49回読売文学賞、第21回鶴屋南北戯曲賞、平成30年度兵庫県  
文化賞を受賞 〕

客 員： 杉本 了三（演劇プロデューサー）

内藤 裕敬（劇作家・演出家・俳優＝南河内万歳一座）

劇 団 員： 34名（男16名 女18名）（令和8年4月予定）

ピッコロ劇団公演ラインナップ

※はピッコロ劇団員

事業名	公演年月日	出演者等
オフシアターVol. 42 「おかしな二人～女性版～」 (中ホール)	8. 4. 10(金) ～12(日) (5公演)	作＝ニール・サイモン 訳＝酒井洋子 演出＝木下鮎美 (※) 出演＝ピッコロ劇団員
第85回公演 「走る本屋と星降る島」 (大ホール)	8. 5. 29(金) ～31(日) 7. 6. 6(土) ・7(日) (5公演)	
わくわくステージ (5・6月期) 「走る本屋と星降る島」 (第85回公演と同演目) (大ホール)	8. 5月・6月 (公演数未定)	作＝伊地知克介 演出＝岡田力 (※) 出演＝ピッコロ劇団員
わくわくステージ 市町ホール公演 「走る本屋と星降る島」 (第85回公演と同演目) (赤穂市文化会館赤穂化成ハーモニーホール大ホール)	8. 6. 22(月) (1公演)	
ファミリー劇場 「《不思議の国のアリスの》帽子屋さん のお茶の会」 (大ホール)	8. 8. 1(土) ・2(日) (4公演)	作＝別役実 演出＝吉村祐樹 (※) 出演＝ピッコロ劇団員
わくわくステージ (11・12月期) 「《不思議の国のアリスの》帽子屋さん のお茶の会」 (ファミリー劇場と同演目) (大ホール)	8. 11月・12月 (公演数未定)	12月公演 オーディションによる子どもた ちが出演予定
ファミリー劇場 「《不思議の国のアリスの》帽子屋さん のお茶の会」 (県立芸術文化センター 阪急 中ホール)	8. 12. 19(土) ・20(日) (3公演)	
第86回公演 「プラズマ金魚 (仮)」 (大ホール)	8. 9. 18(金) ～20(日) (5公演)	作＝上原裕美 演出＝岩松了(ピッコロ劇団 代表) 出演＝ピッコロ劇団員
おでかけステージ (小学校公演) 「タラレバ星人と地球のキキ」 (小学校体育館等)	8. 10月・11月 県内の小学校等での 上演	台本＝谷口雅美、原竹志(※) 演出＝原竹志 (※) 出演＝ピッコロ劇団員
第87回公演 ピッコロシアタープロデュース 「九鬼家の茶碗 (仮)」 (県立芸術文化センター 阪急 中ホール)	9. 2. 12(金) ～14(日) (5公演)	作・演出＝G 2 出演＝ピッコロ劇団員ほか 劇団員のほか、関西俳優陣が 出演予定
合 計 10 事業 【本公演3本、ファミリー劇場2本、オフシアター、わくわくステージ2本、同市町公演、おでかけステージ】		

(注)「わくわくステージ」：ピッコロ劇団による中学生向け演劇鑑賞体験事業

### (参考) 鑑賞サポートの取組

ファミリー劇場・わくわくステージなどにおいて、ピッコロ劇団員の参画のもとに、多様なアクセシビリティに配慮した鑑賞サポートの取組を継続して進めていく。

《取組例》

- ・視覚障害者向けに音声ガイド付き公演  
(R8：わくわくステージ（5・6月期）、第85回公演で実施予定)
- ・聴覚障害者向けに公演の音声情報をバリアフリー字幕表示（タブレット配布又は舞台上で表示）  
(R8：わくわくステージ（11・12月期）で実施予定)
- ・バックステージ解説での手話通訳
- ・視覚障害者に事前に舞台の立体図（触図）に触れてもらう
- ・公演台本・ヒアリンググループ・骨伝導補聴器の貸出
- ・受付での手話通訳、筆談対応等
- ・感覚に配慮し、照明や音響等を控えめにして上演するセンサリー・フレンドリー公演の実施（R8：11月予定）

### (2) 演劇指導（演劇ワークショップ）など

ピッコロ演劇学校（本科・研究科）、県立宝塚北高校（演劇科）をはじめとした大学、高校等、県立総合教育センター、兵庫県自治研修所等へ劇団員を指導者として派遣するとともに、演劇の裾野の拡大をめざし、演劇・創作活動を身近に感じてもらうため、県内各地でワークショップ等を開催する。小学校などでは演劇ワークショップ「あつまれ！ピッコロひろば」を実施する。併せて、特別支援学校生徒や日本語に不慣れな外国人などへの社会包摂活動につながる演劇ワークショップなどの取組も継続して進めていく。

### (3) 外部出演

他劇団、放送局等の依頼を受けて、演劇公演、映画、放送等に出演。

### (4) ピッコロサポートクラブへの支援

ピッコロ劇団の活動を地域全体で支援するため、平成8年に尼崎商工会議所等が中心となって設立された後援会組織である「ピッコロサポートクラブ」の活動を支援するとともに、情報誌「i n t o」を共同発行する。

(参考1) ピッコロサポートクラブ会員 347 名（令和8年1月末現在）

種 類	年会費
法人会員（企業・団体向）	20,000 円
個人会員（特別会員）	10,000 円
個人会員（A会員）	6,000 円
個人会員（B会員）	2,000 円
個人会員（J会員高校生以下）	4,000 円

[特 典]

- ・ピッコロ劇団公演への招待または入場料割引、先行予約
- ・情報誌「i n t o」、稽古場見学会や劇団員との茶話会等の催し物案内の送付
- ・演劇、落語会等ピッコロシアター自主事業の入場料割引、先行予約等

(参考2) 情報誌「i n t o」の発行

ピッコロ劇団公演の紹介をはじめ、劇団員の活動、ピッコロシアターでの催し物等の情報を提供する。

\* A 5 版/20 ページ（カラー印刷）/年4回/各3,000～4,000部

#### 4 人材育成・体験活動事業

##### (1) ピッコロ演劇学校の運営

地域文化を高める演劇創造に参加しようとする若者たちに、夢を与え、表現力や創造力、コミュニケーション力を身につけさせることで、人間性豊かな人材を育成する。

- 【期 間】 令和8年4月～9年3月  
【場 所】 ピッコロシアター  
【授 業】 原則として毎週2回（火・木の夜間）と年数回の特別講義  
特別講師：平田 オリザ、鐘下 辰男、稲葉賀恵 ほか  
【募集人数】 本科40名、研究科20名  
【上演実習】 （本科） 前期発表会、卒業公演〔舞台技術学校と合同製作〕  
（研究科） 前期発表会、卒業公演

##### (2) ピッコロ舞台技術学校の運営

クリエイティブな地域文化のステージづくりと文化施設の活性化のため、舞台芸術を支える美術、照明、音響の舞台技術人材を育成する。

- 【期 間】 令和8年4月～9年3月  
【場 所】 ピッコロシアター、芸術文化センター（学外授業）  
【授 業】 原則として毎週2回（水・金の夜間）と年数回の特別講義  
特別講師：堀尾 幸男、服部 基、山北 史郎  
【募集人数】 美術、照明、音響 計30名  
【上演実習】 クラシックコンサート実習、軽音楽ライブ実習、舞台機構操作実習  
卒業公演〔演劇学校本科と合同製作〕

##### (3) ピッコロ・山根演劇賞の贈呈

ピッコロ演劇学校生及びピッコロ舞台技術学校生のうち成績優秀で他の模範となった者や、ピッコロ劇団員のうち優れた演劇活動を行った者など、優れた演劇活動を行った者に「ピッコロ・山根演劇賞」を贈呈する（時期：令和9年3月）。

##### (4) ピッコロシアター文化セミナー&文化セミナーラボ

###### 〔文化セミナー〕

著名な舞台人による講演、専門家による伝統芸術の紹介・解説などの教養講座を開催し、舞台芸術への関心を高め、地域文化の振興を図る（ピッコロシアター大ホール）。

事業名	期 日	出演者等
<106> 松岡和子(翻訳家・演劇評論家) × 岩松 了(劇作家・演出家・俳優/ ピッコロ劇団代表)	8. 7. 11(土)	出演=松岡和子、岩松 了 ほか

###### 〔文化セミナーラボ〕

従来の文化セミナーに加え、これまでピッコロシアターに馴染みのなかった層にも理解者・ファンを広げるため、舞台芸術の周辺での興味深いテーマを扱う、小規模の実験的なセミナーを開催する。

- 【実施回数等】 年3回（小ホール・閲覧スペースほかで実施）  
【講師】 研究者、まちづくりプロデューサー、新聞記者等

(5) ピッコロ実技教室

伝統芸能や演劇等の体験的学習、解説をまじえた実技教室を開催し、舞台芸術への関心を高め将来の鑑賞者の育成を図る。

「オペラの楽しみ方」「オペラ公演」を除き、2026 ピッコロフェスティバルの期間中に「体験企画」として実施。

事業名	期日	出演者(指導者)等
40歳からのワンコイン演劇講座	8. 8. 25(火)	講師：瀬口昌生(大手前大准教授)
ちやっと！狂言～入門編～	8. 8. 7(金) 8(土)	講師：大蔵流狂言方 善竹隆司 ほか
令和の演劇向上委員会	8. 8. 25(火)	講師：兵庫県高等学校演劇研究会 阪神支部加盟の教諭(演劇部顧問) ほか
まわしよみ新聞&演劇ワークショップ<壁新聞を演じてみよう>	8. 8. 29(土)	講師：陸奥 賢(まわしよみ新聞 考案者)、ピッコロ劇団員
オペラの普及をめざして 関西二期会オペラ研修所と連携 「ピッコロオペラ教室」 「第62期生による修了オペラ」 「作品未定」	オペラの楽しみ方 9. 3. 26(金)	講師：関西二期会理事等
	オペラ公演 9. 3. 27(土)	関西二期会オペラ研修所 第62期生 ほか

(6) 研修生等の受け入れ

開かれた劇場として、トライやる・ウィーク、インターンシップをはじめとした研修生(中・高・大学生等)を年間通して内外から受け入れる。

また、県立芸術文化観光専門職大学(豊岡)から大学生を実習先として受け入れる。

(7) ピッコロ動画配信～コロナ禍から始まった取組～

ピッコロシアターとピッコロ劇団の事業・公演について、より幅広い客層に関心を持ってもらい、実際に足を運んでもらえるよう、SNSやホームページ等を通じて、劇団員によるPR動画などのコンテンツ配信などに取り組む。

(8) ひょうごプレミアム芸術デーにおける交流イベントの開催

7月9日～15日の間、県立芸術文化施設において芸術関連のイベントが開催されることに合わせて、ピッコロシアターでは、7月11日(土)に著名人を招き、ピッコロシアター文化セミナーを開催する。聴覚障害者の鑑賞サポートとして、手話通訳と要約筆記を実施する。併せて、大人も子どもも楽しめる「ヒョーゲンアソビノバ」を実施し、子育てファミリー層の参加を支援する。

(9) ピッコロ・ティーンズ・ワークショップの開催(新規事業)

ピッコロ劇団員が、中学生等(公募10名程度)に夏休みの3日間(8月18日(火)～20日(木))を利用し、演劇の基礎から表現の工夫までを指導し、最後はミニステージを作り上げるワークショップを開催する。

5 施設の管理運営事業

(1) 兵庫県立尼崎青少年創造劇場の施設管理

青少年の演劇、音楽、舞踊等の創造活動を促進するとともに、広く県民文化の高揚を図るため設置された「県立尼崎青少年創造劇場(ピッコロシアター)」の指定管理者として、演劇、音楽、舞踊等の舞台芸術の練習・発表の場である劇場内諸施設を提供するほか、鑑賞劇場、文化セミナー等自主事業を適切に実施する。

【所在地】 尼崎市南塚口町3丁目17番8号

【施設】 ・大ホール（客席数396席） ・中ホール（収容200人）  
・小ホール（収容100人） ・楽屋（6室） ・練習室（3室）  
・資料室（閲覧スペース・書庫） ・舞台美術工房 等

（参考）近年実施した主な施設改修

《R7年度》

- ・大ホール音響設備改修工事（R7）
- ・大ホール舞台吊物設備修繕工事（R7）
- ・大ホール客席後方ダウンライト照明改修工事（R7）
- ・大ホール袖等LED化改修工事（R7）
- ・別館LED化改修工事（R7）
- ・小ホールスポットライトLED交換工事（R7）
- ・防犯カメラ増設（館内・駐車場）（R7）
- ・本館西側外壁樋等更新工事（R7）

《R1～R6年度》

- ・火災受信機更新（R6）
- ・時計設備更新（R6）
- ・情報館機器更新（R6）
- ・事務所ネットワークサーバー更新（R6）
- ・正面玄関電子錠導入（R6）
- ・旧喫茶室改修（R5）
- ・防犯カメラ及びAP追加（R5）
- ・事務室LED化（R5）
- ・敷地内高木剪定（R5）
- ・中ホールロビー空調修理（R5）
- ・大ホール音響室空調修理（R5）
- ・大ホール客席誘導灯修繕工事（R4）
- ・大ホールワイヤレスマイク設備更新（R4）
- ・中ホールスピーカー更新工事（R4）
- ・中小ホール搬入口重量シャッターの修理（R4）
- ・外部2階エントランス等防水工事（R4）
- ・ホール天井照明のLED化（R4）
- ・動画配信のためのWi-Fi整備（各ホール・楽屋・練習室・閲覧室及び別館稽古場）（R3）
- ・ホールのロスナイ（換気システム）の改修（R3）
- ・別館稽古場への換気設備改修（R2）
- ・大ホールホワイエに障害者等対応エレベーターを設置（R2）
- ・展示室を劇場利用者同士の交流が図れる閲覧スペース等に改装、書庫を整備（R1-2）
- ・ホール天井照明のLED化、練習室の防音換気機能向上（R1-2）
- ・小道具等が製作できる舞台美術工房を大ホールB1階に整備（R1）
- ・トイレの完全洋式化、おむつ交換台、授乳室の設置（H29-R1）

## （2）情報の提供

### ① 演劇等舞台芸術関係資料の提供（蔵書数約32,000冊※）

青少年などの幅広い創造活動を支援するため、資料室において、演劇・音楽・舞踊などの舞台芸術専門書等の閲覧・貸出を行い、照会にも迅速に対応する。

※令和2年度にピッコロ劇団初代代表の故・秋浜悟史氏のご遺族からの寄贈蔵書約5,500冊を「秋浜文庫」として受け入れ、書籍の充実を図った。

② ホームページの運営

より見やすく分かりやすいレイアウトとなるよう工夫するとともに、スマートフォンからのアクセスの改良などを継続し、今後とも情報発信力の充実を図る。

※貸館システム導入により、利用者に対して施設の空き情報をリアルタイムで提供（令和5年12月より）

※URL <https://piccolo-theater.jp>

※オンラインチケットシステム導入により、24時間いつでもオンラインで残席を確認しながら予約が可能になった（令和7年12月から一部公演で実施スタート）。

③ 芸術文化情報コーナーの運営

劇場内2カ所に県内外の芸術文化公演や劇場・劇団の等のチラシ、パンフレットを見やすく配置し、来場者へ多くの芸術文化情報を提供する。

6 その他、施設利用者の利便向上への取り組み

・飲料自動販売機の設置

▪ キャッシュレス端末の導入（新規）

※施設利用料、附属設備使用料及び主催公演のチケット料金の支払いについて、令和8年4月よりキャッシュレス決済端末を導入。

## 〔本部の事業（概要）〕

### 1 主催事業

#### (1) 芸術文化活動の表彰事業

将来の活躍が期待される優れた音楽家を対象とする「坂井時忠音楽賞」、功績のあった女性洋画家を対象とする「亀高文子記念—赤艸社賞」、地域の伝統文化の継承等に貢献した者・団体を対象とする「ふるさと文化賞」などの表彰事業を実施し、県の芸術文化の高揚を図る。

#### (2) コンクール、展示事業

美術展等を開催し、県民の創作活動を後押しするとともに、作品の展示を通じて世代や分野を超えた人々の交流の場づくりを進める。また、新進美術家による作品展を開催し、発表の機会と県民が気軽に美術鑑賞できる場を提供する。

#### (3) 公演事業

小学校・高校や公立文化施設において「県民芸術劇場」を実施し、優れた舞台芸術を身近で鑑賞する機会と県内芸術団体等が地域で活動する機会を提供する。また、新進・若手芸術家の発表の機会と誰もが気軽に鑑賞できる場として、ロビーコンサートやリサイタルを開催する。

#### (4) 講座・体験等事業

県民の高い学習意欲に応えるため、県立美術館、博物館等と連携して「兵庫県生活文化大学」を開催し、年間を通じて歴史、美術、音楽等の多彩な分野の講座を実施するほか、気軽に参加できる短期講座を実施する。また、子どもを対象に幅広く芸術文化全般を体験できる「アートで体験プレミアム広場」を新たに実施する。

### 2 芸術文化団体等との連携事業

様々なジャンルの県域芸術文化団体や市町等と連携・協力し、「ふれあい文化の祭典—県民文化普及事業」を展開し、芸術文化のすそ野を拡げていく。7地域の地域文化団体で構成される兵庫県地域文化団体協議会と連携し、地域文化の向上・振興を図る。

### 3 ひょうごアーティストサロンによる県内アーティストへの支援事業

「ひょうごアーティストサロン」では、県内芸術家を支援するため、芸術文化関係者の交流・連携・相談への対応や芸術家の活動に関する情報の発信を行う。また、新進・若手の芸術家に対しては、作品展、ロビーコンサート、リサイタルを開催する。

### 4 情報の提供

協会の各施設や関係文化施設、芸術文化団体等の情報を掲載した情報紙「すずかけ」を隔月発行する。ホームページや各種 SNS による発信、YouTube チャンネルでの県内芸術家・団体の活動等の動画配信などを行うとともに、アーティストサロン内にコンサートや展覧会などの情報コーナーを新設するなど、県民の芸術文化への関心を高め、本部事業や各施設等の芸術文化事業への参加を促す。

## 〔本部の事業（詳細）〕

芸術文化協会本部では、協会事業全体の総合調整を行うとともに、芸術文化の普及啓発を推進し、県民文化・地域文化の向上を図るため、①主催事業（表彰、コンクール・展示、コンサート・リサイタル、講座・体験等）、②芸術文化団体等との連携（ふれあい文化の祭典、地域文化団体との協力等）、③ひょうごアーティストサロンの運営、④情報提供の分野において各種事業を展開する。

事業の実施にあたっては、ニーズ等を踏まえたより魅力ある内容となるよう充実に努めるとともに、厳しい財政環境にあることから、事務の改善を引き続き図っていく。

### 1 主催事業

#### (1) 芸術文化活動の表彰事業

##### ① 第45回ふるさと文化賞の贈呈

地域において永年にわたり、伝統文化の継承、ふるさと文化の高揚に多大な貢献をされた個人、団体を顕彰するため、「ふるさと文化賞」を贈る。

【件数】 3件以内

##### ② 亀高文子記念<sup>せきそうしゃ</sup>赤艸社賞の贈呈

絵画の創作を通じて、県民文化の高揚に功績のあった女性洋画家を顕彰する「亀高文子記念赤艸社賞」を贈る。

【件数】 2件以内

【副賞】 20万円

##### ③ 坂井時忠音楽賞の贈呈

県内における音楽活動に優れた業績をあげ、かつ、将来の活躍が期待される音楽家を顕彰する「坂井時忠音楽賞」を贈る。

【件数】 2件以内

【副賞】 30万円

#### (2) コンクール、展示事業

##### ① 第32回兵庫ふれあい美術展

日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真作品による美術展を開催する。

【会期】 令和8年12月24日（木）～27日（日）

【会場】 原田の森ギャラリー

##### ② 新進美術家作品展（アーティストサロン事業）

県内各美術団体の協力を得て、新進作家を中心とした作品展を開催する。

・ひょうごアーティストサロン内ギャラリー

作品展	開催時期（2ヶ月程度）
兵庫二紀会選抜展	4月～5月
兵庫県写真作家協会新進作家選抜展	6月～7月
兵庫県美術家同盟新進作家選抜展	8月～9月
兵庫の工芸 壁面を飾る	10月～11月
兵庫県書作家協会選抜展	12月～1月
兵庫県日本画家連盟選抜展	2月～3月

- ・原田の森ギャラリー東館展示室

作 品 展	開催回数等
兵庫県婦人手工芸協会特別展（手工芸）	8月（5日間）
兵庫県日本画家連盟特別展（日本画）	3月（5日間）

- ・原田の森ギャラリー本館2階大展示室

作 品 展	開催時期
兵庫県美術作家交流展	12月（4日間）

### （3） 公演事業

#### ① 県民芸術劇場

小学生・高校生、一般県民が優れた舞台芸術を身近に鑑賞し、県内芸術団体等が活動する機会として県民芸術劇場を開催する。

【時 期】 通年

種別	開催場所	公演数（前年度）	公演内容
一般公演	市町文化会館等	9(13)	オーケストラ、室内楽、声楽、 打楽器、演劇、ミュージカル、 人形浄瑠璃、狂言、落語等
学校公演	小学校 高等学校等	51(55)	
合計		60(68)	

#### ② ひょうごアーティストサロン ミュージアムコンサート（アーティストサロン事業）

新進・若手アーティストに活動発表の場を提供するとともに、誰もが気軽に鑑賞できるようコンサートを開催する。

【回 数】 年8回（開催月の第2土曜日）

【会 場】 横尾忠則現代美術館オープンスタジオ

#### ③ 県内芸術家ロビーコンサート（アーティストサロン事業）

県・市町の文化施設等における新進芸術家等によるロビーコンサートを実施し、発表と鑑賞の機会を創出する。

【回 数】 20公演程度

【会 場】 県市町文化施設

#### ④ ひょうごの新進芸術家リサイタルシリーズ（アーティストサロン事業）

兵庫県出身、在住、在勤、在学で芸術文化活動をする概ね45歳未満の個人及び団体で、今後の活躍が期待される新進芸術家に発表の場を提供する。

【回 数】 年8回

【会 場】 芸術文化センター 神戸女学院小ホール

### （4） 講座・体験等事業

#### ① 兵庫県生活文化大学

日々の暮らしに喜び、感動を求め、歴史や文化に深い関心を寄せる県民の学習意欲に応えるため、多彩な講座で構成する兵庫県生活文化大学を開催する。

講座名		開催地・会場	期間・回数	
通年	神戸校	文化財 (県立美術館「芸術の館友の会」)	4～2月 10回	
		考古学 (県立考古博物館)	4～2月 10回	
		日本美術 (県立美術館「芸術の館友の会」)	神戸市 神戸市立中央区文化センター	4～2月 10回
		西洋美術 (県立美術館「芸術の館友の会」)		4～2月 10回
		ふるさとの歴史 (県立歴史博物館)		4～2月 10回
		音楽鑑賞 (兵庫県音楽活動推進会議)		5～3月 10回
通年	明石校	ふるさとの歴史 (明石市) (県立歴史博物館)	明石市 明石市生涯学習センター	4～2月 10回
	姫路校	ふるさとの歴史 (県立歴史博物館)	姫路市 県立歴史博物館	4～2月 10回
短期		展覧会特別鑑賞講座 伝統芸能講座 ふるさとウォーク	神戸市・西宮市 県立美術館 芸術文化センター ほか	4～3月 5回程度
合計 11講座			85回程度	

## ② 風土と文化の歴史学講座

田辺真人園田学園大学名誉教授を講師に迎え、様々な風土から育まれた多様な文化を歴史的に考察する。

【時期】 6月～9月頃(全3回)

【会場】 神戸市立中央区文化センター 多目的ホール

## ③ アートで体験プレミアム広場

子どもを対象に幅広く芸術文化全般を体験できる機会を提供し、その魅力を感じてもらうためプレミアム広場を開催する。

【時期】 令和9年3月頃

【会場】 兵庫県公館

【内容】 伝統文化(お箏、生け花、茶道等)＋他分野(楽器、ダンス、写真等)

## ④ 友の会事業の推進

芸術文化を愛し、こころ豊かな生活文化を育む人々が、芸術文化に関する学習や交流事業を通じて、生きがいくりと会員相互の交流を図るため、友の会事業を推進する。また、会員数の拡大や会員特典施設の増加・充実等に取り組む。

【名称】 兵庫県芸術文化協会友の会

【種類】 個人会員 (会費: 3,000円)

ファミリー会員(同一世帯・2人まで) (会費: 5,000円)

団体会員 (会費: 10,000円)

【特典】 ・文化情報紙「すずかけ」の送付(隔月)

・兵庫県生活文化大学の受講料等割引

・美術館・博物館等の入館料割引

・提携劇場指定公演チケットの割引など

## 2 芸術文化団体等との連携事業

### (1) 兵庫県地域文化団体協議会への支援

県内7地域の文化団体協議会等と協会で組織する兵庫県地域文化団体協議会の事務局を運営し、情報や課題の共有、シンポジウム事業の実施など地域文化の活性化を図る。

#### ① 地域文化団体との共同事業

県内7地域の文化団体協議会等と協力し、地域伝統文化事業をはじめ、各地の自主的な芸術文化事業を開催する。

【対象】 地域文化団体7団体

No.	構成団体	事業名
1	阪神南文化振興団体連絡協議会	第47回尼崎薪能
2	阪神北文化振興団体連絡協議会	地域活動団体出演・出展支援事業
3	東播磨文化団体連合会	東播磨文芸誌「東はりま文化子午線」第50号の発行
4	西播磨文化協会連絡協議会	「西播磨地域ふれあい文化交流会」の開催
5	但馬文化協会	但馬文学のつどい「たじま作品集～短詩型文学～第51集の発行
6	丹波文化団体協議会	「日本の文化体験フェスティバル」の開催
7	淡路文化団体連絡協議会	「淡路文化の祭り」の開催

#### ② 地域文化を考えるシンポジウム

県内市・町文化協会長等が一堂に会し、シンポジウムを通じて地域の文化活動を語りあい、芸術文化情報の交換と連携の輪を広げ、地域文化の活性化と県民文化の向上を図る。

【時期】 令和8年9月29日(火)

【会場】 三田市総合文化センター 郷の音ホール

【テーマ】 調整中

### (2) 県民文化普及事業 ふれあい文化の祭典

芸術文化団体が、市町及び兵庫県の協力を得て「令和8年度県民文化普及事業—ふれあい文化の祭典」(24事業)として実施するイベント等について、事務調整、広報、観客誘致等を担当し、協力・支援する。

No.	事業名	関係文化団体	会場(市町)
1	兵庫県交響楽祭	兵庫県オーケストラ協議会	たつの市
2	ひょうごブラスフェスティバル	兵庫県吹奏楽連盟	西宮市
3	ひょうご吟剣詩舞道祭	兵庫県吟詠連盟、 兵庫県吟剣詩舞道総連盟	調整中
4	ひょうご日本民謡フェスティバル	日本民謡民舞兵庫県連合会	神戸市
5	音楽とダンスの祭典 in Hyogo	兵庫県ダンススポーツ連盟	神戸市
6	ひょうご演劇祭	兵庫県劇団協議会	西宮市
7	ひょうご名流舞踊の会	兵庫県舞踊文化協会	神戸市
8	ひょうご洋舞フェスティバル	兵庫県洋舞家協会	西宮市
9	兵庫短歌祭	兵庫県歌人クラブ	神戸市
10	兵庫県川柳祭	兵庫県川柳協会	調整中

No.	事業名	関係文化団体	会場（市町）
11	詩のフェスタ ひょうご	兵庫県現代詩協会	神戸市
12	全国手工芸美展 in ひょうご	兵庫県婦人手工芸協会	神戸市
13	兵庫県いけばな展（神戸展）	兵庫県いけばな協会、 兵庫県いけばな芸術文化振興会議	神戸市
14	兵庫県いけばな展（地域展）	兵庫県いけばな協会、 兵庫県いけばな芸術文化振興会議	加古川市
15	ひょうご大茶会	兵庫県茶道協会	神戸市
16	ひょうご邦楽の祭典	兵庫県箏絃連盟	西宮市
17	ひょうご民俗芸能祭	兵庫県伝承民俗芸能文化協会	丹波篠山市
18	アンサンブル・フェスティバル兵庫	兵庫県音楽活動推進会議	西宮市
19	和太鼓フェスティバル in 兵庫	兵庫県太鼓連盟	調整中
20	兵庫ふれあい美術展	（公財）兵庫県芸術文化協会	神戸市
21	東播磨文化フェスティバル	東播磨文化団体連合会	加東市
22	西播磨文化フェスティバル	西播磨文化協会連絡協議会	市川町
23	丹波文化フェスティバル	丹波文化団体協議会	丹波市
24	淡路文化フェスティバル	淡路文化団体連絡協議会	調整中

### （３） 地域で親しむ舞台芸術応援事業

県内各地域で舞台芸術を鑑賞できる機会をつくとともに、県内芸術家の公演活動を支援することで優れた芸術家の育成につなげる。

【採択件数】 40 公演程度

【対象経費】 公演料

【助成額】 1 公演あたり 250～1,000 千円上限（公演開催地域によって異なる）

### （４） 芸術文化団体等の事業への支援

県内で開催される文化振興に寄与する事業に対し、後援名義の使用を承認するとともに、県民文化の高揚に特に寄与すると認められる事業に、兵庫県芸術文化協会賞を授与する。

### （５） 兵庫県文化賞受賞者懇話会への支援

兵庫県文化賞受賞者で構成される、兵庫県文化賞受賞者懇話会の事務局運営等の支援を通じて、芸術文化の振興を図る。

## 3 ひょうごアーティストサロンによる県内アーティストへの支援事業

ひょうごアーティストサロンに芸術文化コーディネーターを置いて、新進・若手アーティスト等に対する相談・助言や、発表の機会と場の提供などをより積極的に行うことにより、新進・若手アーティストの育成支援と地域における芸術文化活動のさらなる活性化を図る。また、新進・若手アーティストの育成支援等に役立つ募金の呼びかけにも取り組む。

### （１） 芸術文化関係者の交流・連携の促進

様々な分野の芸術文化関係者がアーティストサロンに集い、出会い、語らいの場として利用されることにより、交流拠点としてのサロン機能を発揮する。

## (2) 相談・助言・斡旋事業の実施

芸術文化情報の収集・発信を通して蓄積した人材情報等に基づき、初心者から若手、中堅を問わず芸術文化活動に関する様々な相談に応じる。

また、県・市町や関係団体が主催するシンポジウム・セミナー・各種大会において、これらの事業に花を添えるような形で、県内のアーティストが参画する「ひょうごさわやかステージ」と冠したミニコンサートやミニ展覧会を斡旋することで、県民により多くの芸術文化に触れる機会を提供する。

## (3) 新進・若手アーティストの育成・支援

- ① 新進美術家作品展（再掲）
- ② ひょうごアーティストサロン ミュージアムコンサート（再掲）
- ③ 県内芸術家ロビーコンサート（再掲）
- ④ ひょうごの新進芸術家 リサイタルシリーズ（再掲）

## 4 情報の提供

### (1) 文化情報紙「すずかけ」の発行

協会の文化情報紙「すずかけ」を発行し、芸術文化への関心を高め、参加を促す。

【内 容】芸術文化協会の事業紹介、文化関係者の活動紹介、県内のイベント情報等

【発 行】隔月1回/4,000部

【配布先】友の会会員、文化会館、美術館、博物館等の文化施設、市町文化担当課ほか

### (2) 文化情報の提供

ひょうごアーティストサロンに文化情報紙、県内施設等の催物案内チラシなどを配架し、多彩な文化情報を提供する。

### (3) ホームページの運営

協会概要や本部事業の情報提供のみならず、芸術文化センター、ピッコロシアター、芸術文化協会本部、ひょうごアーティストサロン、原田の森ギャラリー、横尾忠則現代美術館の各ホームページにリンクし、各施設の公演、展覧会事業等を幅広く紹介する。また、ホームページの多言語化対応により、海外や在留外国人への情報提供にも取り組む。

(公財)兵庫県芸術文化協会 (<https://hyogo-arts.or.jp>)

【内 容】・協会の概要

- ・協会主催事業等の案内
- ・管理施設の案内

### (4) その他多面的な広報活動

#### ① SNSの運営

YouTubeチャンネルで動画配信をするほか、X(旧Twitter)、Facebook、Instagramを活用して、情報発信を強化する。

#### ② マスメディアによる情報提供の強化

テレビ、ラジオ、新聞等への記者発表、資料配布等。

#### ③ 県広報媒体の活用

兵庫県広報紙「県民だよりひょうご」、サンテレビ県民情報番組「ひょうご発信！」兵庫県広報公聴課Facebook「はばタンなび」等。

#### ④ 県内文化施設等多様なチャンネルを活用した情報提供

兵庫県生活文化大学を共催している県立美術館、県立歴史博物館、県立考古博物館等の施設と連携してPRを行うほか、県内の文化施設や図書館、各教育機関を通じて情報発信を行う。

## 〔県立美術館王子分館の管理・運営（概要）〕

### 1 原田の森ギャラリーの運営

#### （1）貸しギャラリーの適正な運営

プロ・アマチュア芸術家、芸術文化団体の作品発表の場として、また、県民がさまざまな芸術文化に触れ交流する場となるよう、ギャラリー運営会議の助言を得ながら、適正で効率的なギャラリー運営を図る。

#### （2）施設・設備の適切な管理

年間10万人以上の来場者が安全安心に利用できるよう、日常的な点検の実施、不良箇所への速やかな対処に努める。施設・設備の修繕についても県と協議のうえ、計画的に対応する。

### 2 横尾忠則現代美術館の管理・運営

#### （1）横尾作品を中心とした展覧会運営

昨年世田谷美術館で開催された「横尾忠則 連歌の河」の巡回展ほか、横尾忠則の作品をさまざまな切り口・角度から紹介する3つの展覧会を開催する。

① 横尾忠則 連歌の河 / 令和8年5月23日～8月30日（86日間）

② Curators in Panic 2 ～横尾忠則展 学芸員危機二髪? /

令和8年9月19日～12月27日（86日間）

③ 横尾忠則のビフォー／アフター / 令和9年1月30日～5月5日（83日間）

また、展覧会をより楽しめるよう、期間中に実施するギャラリートーク動画のYouTube発信や1Fオープンスタジオでの放映などを行う。

#### （2）アーカイブ資料の整理・公開

横尾氏が所蔵し、当館に受け入れているイラスト、デザイン原稿、書籍等を整理し、展覧会に活用するとともに、順次「アーカイブ資料リスト」として公開し、横尾芸術の研究等に活用する（令和8年1月末現在 4,146点）。

#### （3）ひょうごプレミアム芸術デーの実施

県民が気軽に芸術文化に触れる機会を提供するため県が実施する「ひょうごプレミアム芸術デー」の一環として、次の取組を実施する。

① 無料開放 令和8年7月9日～15日（7日間）

② 「自由に話せる観覧日」の設定

障がい者や子育て世代が気兼ねなく鑑賞できる日として、毎月第2日曜日に設定

③ スペシャルライブの開催（横尾氏ゆかりの音楽家を起用予定）

#### （4）情報発信の強化・充実

横尾作品は世界的にも評価が高いことから、ホームページの多言語化や字幕付き展覧会PR動画の配信、SNSを用いた多言語での情報発信など、国内外に向けて広報を充実させる。

## 〔県立美術館王子分館の管理・運営（詳細）〕

兵庫県立美術館王子分館の指定管理者として、横尾忠則現代美術館での展覧会、公開制作やコンサートなど各種催しを開催し、芸術文化に関する情報発信を行うとともに、原田の森ギャラリーでは、地域のプロ・アマチュア芸術家や県内芸術文化団体の発表の場としての役割を果たせるよう管理・運営に努める。

【所在地】 神戸市灘区原田通3丁目8番30号

【施設】 〈原田の森ギャラリー〉本館（1・2階展示室、収蔵庫）、  
東館（1・2階展示室、収蔵庫地下1階・地下2階）、  
会議室（2室）、講義室等（3室）  
〈横尾忠則現代美術館〉展示室（2・3階）、  
アーカイブルーム、コレクションギャラリー、  
展望施設（4階）、  
オープンスタジオ、ミュージアムショップ、  
インフォメーション（1階）、収蔵庫（地下1階）  
〈喫茶棟〉  
〈附属駐車場〉31台（時間貸し）

### 1 原田の森ギャラリーの管理・運営

#### （1）貸しギャラリー等の実施

当施設は、公立美術館としては全国最大規模のギャラリーを有し、明るく開放的かつ快適な空間の展示室が利用者から大変好評を得、高い利用率を保っている。

会議室では絵画教室に加えコンサート等、多様な創作・発表の場として提供し、芸術活動の拠点として幅広く活用されるよう施設の貸出しを行う。

また、施設の開館から50年以上経過し、老朽化が進むなか、来館者へ安全安心な環境を提供するため、必要な修繕等については県と協議しつつ、施設・設備を常に良好な状態に維持するよう努める。

#### （2）ギャラリー運営会議の実施

広く公平・適正な利用を推進するとともに、効率的・計画的なギャラリー運営の円滑化を図るため、県域文化団体代表者を含む運営委員からの助言・提言を得るギャラリー運営会議を実施する。

#### （3）情報の提供・広報

##### ① ホームページの運営（<https://hyogo-arts.or.jp/harada>）

【内 容】施設概要、展覧会情報、利用案内、空室情報等

##### ② SNSの運用（フェイスブック、ツイッター、インスタグラム）

【内 容】即時性のある展覧会情報、イベント情報等

##### ③ 美術情報の提供

【内 容】1階フロアに展覧会案内ハガキ、パンフレットを見やすく配置し、来館者に情報サービスの提供を行う。またJR灘駅をはじめ近隣施設へのスケジュール掲示など、地域と連携しながら利用者増に努める。

##### ④ 障害者アート作品の常設展示

【内 容】全国的にも珍しい、障害のある方々の芸術作品等の発表、鑑賞機会の拡大を目的とした「兵庫県障害者アートギャラリー（常設展示室）」を館内に設け、2～3カ月毎に作品を入れ替えて展示を行う。

## 2 横尾忠則現代美術館の管理・運営

当館が有する、世界最大の横尾作品のコレクション（約2,800点）を生かして、横尾忠則氏の優れた作品を広く県民に鑑賞する機会を提供する。

「横尾芸術の一大拠点」として、企画に即した展覧会関連事業、オープンスタジオコンサート、パフォーマンスのほか、コロナ禍において定着した動画配信等による情報発信も含めて、多様な表現手段を用いた美術館広報を展開し、若い世代をはじめとした新たな来客層への訴求にもつながる魅力を当館らしく発信していく。

### (1) 横尾作品を中心とした展覧会の開催

展覧会名	第1期企画展	横尾忠則 連歌の河
会 期	令和8年5月23日（土）～8月30日（日） 86日間	
内 容	2023年、横尾忠則は80代後半にして、新たな試みを始めた。「連歌」になぞらえて「連画」と名付けられた連作は、《記憶の鎮魂歌》（1994年、当館蔵）に端を発し、ひとつ前の作品と次の作品とがゆるやかに繋がっている。昨日の絵は、今日の横尾を思いもよらない方向へと導き、60点を超える一大シリーズとなった。2025年に世田谷美術館で公開されたこれらの新作を、神戸でも紹介する。	
関連事業	キュレーターズトーク、スペシャルライブ等	

展覧会名	第2期企画展	Curators in Panic 2 ～横尾忠則展 学芸員危機二髪?
会 期	令和8年9月19日（土）～12月27日（日） 86日間	
内 容	2021年、大規模な個展のために横尾忠則の代表作約200点を貸し出してしまった当館学芸員が、残された作品から「推し」を選んだ開き直りの展覧会「横尾忠則展 学芸員危機一髪」の第2弾。今回は当館のコレクションから全力で「推し」を紹介する。 2012年の開館以来、展覧会を企画してきた学芸員たちが、作家にも美術史にも付度なして選ぶ独断と偏見のコレクション総選挙である。	
関連事業	キュレーターズトーク等	

展覧会名	第3期企画展	横尾忠則のビフォー／アフター
会 期	令和9年1月30日（土）～5月5日（水・祝） 83日間	
内 容	1960年代の横尾忠則のポスター原画は、しばしばそれ自体がまるで作品であるかのような存在感を示している。また1980年代以降は、時に絵画がポスターの原画に用いられる。それらは、もはや原画と本画の主客関係を超えて、それぞれが自立した作品のように感じられる。 本展では、そうした横尾ならではの「ビフォー／アフター」に着目し、関連作品を併置することで、その独特な造形思考に迫ることを試みる。	
関連事業	キュレーターズトーク等	

## (2) 貴重なアーカイブ資料の整理・公開・展示

アーカイブでは、横尾氏のもとに保管されていたイラストやポスター、デザイン原稿をはじめ、蔵書・関連記事の掲載誌、レコード収集品など多岐にわたる資料を受け入れ、順次、整理・公開していく。

資料整理をより円滑に行うため、博学連携として神戸芸術工科大学等からのインターン生を受け入れる。

### ① 整理・公開

整理済み資料に関する情報は、横尾忠則現代美術館 HP にて「整理済みアーカイブ資料リスト」として一覧を公開する。

※登録済の資料：4,146点（令和8年1月末）

### ② 閲覧

整理済み資料については閲覧に供する。（無料、要予約、個人への貸出不可）

### ③ 展示

企画展等での展示に供する。

## (3) 作品・資料等の保存・修復活動

収蔵作品及び資料の劣化要因（温湿度、光、空気汚染物質、有害生物など）を制御、排除することで、館内環境を良好に保つよう努める。保存・修復に際しては、作品の現状維持修復を原則とし、オリジナルの価値を損なわないように配慮しながら、展示・他館貸し出し等に応じ、修復措置を行っていく（令和7年度：252件実施）。

## (4) ひょうごプレミアム芸術デーの実施

県民の芸術文化に触れる機会を充実するため、県立芸術文化施設の無料開放等を行う県民プレミアム芸術デーを実施する。

① 無料開放 令和8年7月9日（木）～15日（水）

② 自由に話せる観覧日 障がい者や子育て世帯の来館促進のため毎月第2日曜日に設定

③ 著名アーティストによるスペシャルライブ ほか

## (5) オープンスタジオ等を活用した多彩なイベントの実施

### ① 企画展関連事業

横尾氏と密接な関係のある著名人とのトークショーやライブ、キュレーターズトーク、ワークショップ、講演会等を開催する。

### ② オープンスタジオコンサート

協会本部のアーティストサロン等の協力を得て、県内を中心に活動する優れた音楽家によるコンサートやアーティストによるパフォーマンスを実施し、美術館のにぎわいづくりと新たなファン層の拡大をめざす。

### ③ YouTube での動画配信事業

公式 YouTube チャンネルにおいて、ギャラリートーク（字幕：日・英）のほか、展示室の横尾作品をバックにしたパフォーマンスなど、館の魅力を発信する映像の制作・配信等を行っていく。

## (6) 連携によるにぎわいづくり

### ① 地域との連携

#### (ア) 地域住民・商店街等との連携

展覧会ポスター・チラシ配布、地域イベント（美かえるカラフルマルシェ、1DAY JAZZ ROAD）でのPRを実施。

#### (イ) 周辺施設との連携（神戸文学館、灘区民ホール、王子動物園、BBプラザ美術館等）

相互のポスター・チラシの掲示・設置。

## ② 学校との連携

- ・芸術系大学を中心に団体を受け入れ、学芸員の案内を実施
- ・関西学院大学、神戸松陰女子学院大学、兵庫教育大学との提携

## ③ 他館との連携

### (ア) 神戸市内美術館で構成する「KOBE MUSEUM LINK」との連携

共同ホームページの作成、共同イベントの実施（スタンプラリーによる広報等）。

### (イ) ミュージアムロードを構成する主要文化施設との連携

県立美術館本館、原田の森ギャラリーはもとより、近接する神戸文学館や神戸市立王子動物園、ミュージアムロードの中間点に位置するBBプラザ美術館等と連携し、ポスターの掲示やチラシを設置、県立美術館とは半券提示での割引制度を設け、相互に協力している。

### (ウ) 国内外の美術館等

豊島横尾館、西脇市岡之山美術館、世田谷美術館をはじめとする国内外美術館等との広報連携を推進していく。

## (7) 情報の提供・広報

マスメディアや交通広告をはじめ、インターネットの活用など様々な媒体を通じて広く広報を実施。また横尾氏の国内外での知名度・評価も高いことから、全国誌への掲載の働きかけ、ホームページの多言語化や展覧会図録の英語併記、英語字幕付きPR動画の配信など、国際広報にも努める。

### ① 県庁記者クラブでの資料配布、記者説明会の開催

### ② テレビ・ラジオのニュース・特集番組、新聞等マスメディアの活用

### ③ 芸術・旅行分野の全国紙への掲載働きかけ

### ④ インターネット等による当館情報発信

ホームページ（多言語対応）、YouTube チャンネル、X（旧ツイッター）、フェイスブック、インスタグラム、SNS による広告配信等。

### ⑤ 交通広告等による広報

阪急・山陽電鉄への広報、三宮センター街への看板掲出、JAF 等との提携・割引を実施。

### ⑥ 横尾氏本人によるPR

テレビ出演、雑誌対談、X（31.5 万フォロワー）などのほか、横尾氏のコラボ・ブランド（ISSEY MIYAKE、BEAMS、モンマルトルニューヨーク、TOOT 等）を当館広報に活用。

### ⑦ キャッシュレスへの対応

Sonoligo、楽天チケット等での館外チケットの販売、クレジットカード等によるキャッシュレスチケット販売の実施。

## 3 その他、施設利用者の利便向上への取り組み（収益事業）

- ・カフェスペースの貸出（横尾忠則現代美術館）
- ・関連グッズのショップの設置・運営（横尾忠則現代美術館）
- ・有料駐車場の運営（時間貸、収容台数 31 台）
- ・飲料自動販売機の設置